- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人睦学園

- (2) 大 学 名 **兵庫大学**
- (3) 調査対象大学等の位置

〒675-0195 兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(ワタナベ アズマ) 渡邉 東 (平成20年1月)	(コウノ マコト) 河野 真 (令和4年11月)	任期満了に伴う変更(5)
学長	(コウノ マコト) 河野 真 (平成28年7月)		
学 部 長	(セキ ヒロカズ) 關 浩和 (令和5年4月)		
学科長等	(マツダ ノブキ) 松田 信樹 (令和5年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 令和6年度に報告する内容 → (6)令和7年度に報告する内容 → (7)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告 された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」) のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください。
 - <u>様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが</u>、

 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ぐださい。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) 一① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	ביל פוע
教育学部 教育学科 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	4	100	2年次 0 人 3年次 5 人次 4年次 0 人	410 人	-	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、

 - 「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	令和	2 年度	令和	3 年度	令和	4 年度	令和:	5 年度	令和 6	6年度	令和7	7年度	春季入学以外の 学期区分につい	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	7	充足率	(控除後)	pp.	.,
	一人	人	一人	- 人	一人	- 人	100人	- 人	100人	人 _	100人	-人					
A 入学定員	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(5)	-				
	_		_		_	-	246		165		171						
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)	春季入学以外				
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	の入学時期と 入学定員内訳				
亚胺土物				,			207		153		155		八十足貝内扒				
受験者数	[-]	(-)	(-)	[-]	[-]	(-)	(-)	[-]	(–)	(-)	(2) [- 1	(-)		0.63倍	一倍		
			_		_		185		132		140						
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)					
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	_				
- 7 44 44 44	_	_	_	_	_	_	69	_	67	_	65	_					
B 入学者数	(-)	(-)	(-) [-]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	[-]	(-)	$\begin{bmatrix} 1 \end{bmatrix}$	(-)					
入学定員超過率 B/A		_		_		_	0.	69	0.	67	0.	65					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ()内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、
 - (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「-」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 - に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 - なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、
 - 下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してださい。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。) ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて
 - 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	令和:	2年度	令和:	3 年度	令和	4 年度	令和:	5年度	令和 6	6年度	令和 :	7 年度			備		考		
学 年		春季入学	その他の学期			1/19		75												
		_	_	_	_	_	_	69	_	67	-	65	_	令和7年4月	3年次編入学	生	1名			
1 年	次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]							
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)							
				_	_	_	_	_	_	68	_	68	_							
2 年	次	/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]							
				(–)	(-)	(-)	(–)	(–)	[-]	(–)	(–)	(–)	(-)							
						_	_	_	(-)	-	_	61	_							
3 年	次	/		/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]							
						(–)	(-)	(–)	(–)	(–)	(–)	(–)	(–)	<u> </u>						
								_	_	_	_	_	_							
4 年	次			/		/		[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]							
						_		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	<u> </u>						
		, -	- ,		- ,		- ,		9		35		94							
計		L -	-]	L -	-]	Ι	-]	_	0]		0]	_	0]							
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	(0)	(0)	(0)							

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

 - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。 (歯年度については、各年度末時点の情報として記入してください。
 []内には、<u>留学生の状況について、内数で記入</u>してください。該当がない年度には「- Jを記入してください。
 ・ ()内には、<u>留学生の状況について、内数で記入</u>してください。該当がない年度には「- Jを記入してください。
 ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に入数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。
 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)		内訳	:者数	主な退学理由
対象年度			入学した年度	赵子	うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和5年度	68 人	1 人	令和3年度	- 人	- 人	_
コ和り十尺	00 X	' ^	令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	0 人	学習意欲の低下(1人)
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和6年度	135 人	5 人	令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	3 人	0 人	家庭の事情(2人)、他学部への編入学(1人)
			令和6年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)、学習意欲の低下(1人)
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和7年度	194 人	2 人	令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	2 人	0 人	他学部への編入学(2人)
			令和6年度	0 人	0 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		8 人		8 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。 (過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】			
令和2年度の退学者数(a)	=	- %	
令和2年度の在学者数(a+b) #VALUE!			
【令和3年度】			
令和3年度の退学者数(a) = -	=	- %	
令和3年度の在学者数(a+b) #VALUE!			
【令和4年度】			
<u> </u>	=	- %	
1541 1 25 1 1 25 (4 5)			
【令和5年度】			
令和5年度の退学者数(a) = 1 令和5年度の在学者数(a+b) 69	=	1.44 %	
市和5年度の任子有数(a+b) 69			
【令和6年度】			
<u> 令和6年度の退学者数(a)</u> = <u>5</u>	=	3.57 %	
【令和7年度】			
<u>令和7年度の退学者数(a)</u> = <u>2</u> 令和7年度の在学者数(a+b) = 196	=	1.02 %	

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

					į	单位类	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次		必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
	建学	宗教と人生 仏教と現代社会	1後 1後		2	2							1
	の	兵庫大学の学びと和 地域と仏教	1後 1前			2							2
	精神	兵大京都学	1後		•	1	_	_	_	_	_	•	2
		小計(5科目) 日本語(読解と表現)	_ 1前	1	2	6	0	0	0	0	0	0	1
	⊐												
	ュニケー	英語	1後		2								2
	ケー	実用英語 I 実用英語 I	1後		_	2							1
	ショ	关 用类品 II	2前			2							'
	ン	中国語(初級)	1前			2							1
		中国語(中級) 韓国語(初級)	1後 1前			2 2							1
		韓国語(中級)	1後		0	2							1
		コンピュータグラ	1前 1後		2	2							1
		フィックスの基礎 小計(10科目)	- K	_	6	14	0	0	0	0	0	0	9
		国際理解と宗教 I (キリスト教)	1前			2							1
	国際	国際理解と宗教 Ⅱ	1後			2							1
	理	(イスラム教) 国際関係論	1後			2							1
	解	比較文化論	1後			2							1
共通	歴	小計(4科目) 歴史学	- 1前	1	0	8	0	0	0	0	0	0	4
教	史と	文学 色彩のデザイン	1後			2							1
育科	文 化	小計(3科目)	1前 -	1	0	6	0	0	0	0	0	0	3
目	地	地域文化論 建築デザインと地域	1後 1後			2							1
	域	地域と文化財 地域資料を読む	1前 1後			2							1
	に学	日本の伝統文化	1前			2							1
	ぶ	「将棋」を学ぶ ファシリテーション入門				2							3
	現	小計(6科目) 哲学	- 1前	0	0	12	0	0	0	0	0	0	5 1
	代社	日本国憲法 人権の歴史	1前 1前		2	2							1
	会を	政治学	1前			2							1
	読 み	社会学 経済学	1前 1前			2							1
	解く	現代社会の理解 小計(7科目)	1前 -	0	2	12	0	0	0	0	0	0	7
		生命倫理学心理学	1前 1前	Ī		2							1
	自	化学	1前			2							1
	然	生物学身のまわりの科学	1前 1前			2							1 2
	と科	プログラミング入門	1後			2							1
	学												
		J. 51 (05) [7]		1	•	10							
	<	小計(6科目) 食と健康	1後	+	0	12 2	0	0	0	0	0	0	6 1
	らしと	健康・スポーツ I (講義) 健康・スポーツ II (実技)	1後 1前		2	1							1 2
	健康	健康・スポーツⅢ(実技) 小計(4科目)	1後	4	2	1 4	0	0	0	0	0	0	1 4
	康 キャ	わたしのためのキャリ	1前	+	۷	2	U	U	U	U	U	U	1
1		ア設計	. 13/3			_		l	l	l	l		· ·
1	リア	ヒューマンサービスと	044			_							_
		ヒューマンサービスと マネジメント 入門ボランティア	3後 1通			2							3

【令和7年度】

	12 1 M	/ 平及』		Ξ	,	¥ /- *	h.	-	- *	무쓰	ω #1-	罕	の基
科	丰目	セ 業利 日 の 夕	配当	要授	必	単位数 選	X 自	教	准	貝守講	の配	助	を教幹 除員教
Þ	区分	授業科目の名称	年次	業科	æ.	~		-	教	DI**		191	く (員) 助以
		宗教と人生		В	修	択	由	授	授	師	教	手	手外
	建学	示教と人主 仏教と現代社会	1後 1後	0	2	2							1
	の	兵庫大学の学びと和	1後			2							2
	精	地域と仏教 兵大京都学	1前 1後			1							2 2
	神	小計(5科目)	-	-	2	6	0	0	0	0	0	0	4
		日本語(読解と表現) 日本語初級 I (留学生)	1前 1前	0	2	2							1 2
		日本語初級 II (留学生)	1後			2							2
		日本語初中級 I (會学生) 日本語初中級 II (會学生)	1前 1後			1							1
		日本語中級 I (留学生)	前			i							i
		日本語中級I(留学生) 日本語中上級I(留学生)	1後			1							1
	П ///	日本語中上級 I (留学生)	1前 1後			2							1
		日本語上級 I (留学生)	1前			2							1
	-	日本語上級Ⅱ(留学生) 英語	1後 1後	0	2	2			1				1
	ュニケー	実用英語 I	2前		_	2		1					0
	シ	実用英語Ⅱ	2後 3前			2 2		1	1				0
	3	実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ	3後			2			i				ŏ
	ン	中国語(初級) 中国語(中級)	1前 1後			2							1
		韓国語(初級)	1前			2							1
		韓国語(中級) コンピュータ演習	1後 1前	0	2	2			1				1
		コンピュータグラ	1後	J	_	2			'				2
		フィックスの基礎 小計(22 科目)	11及		e	34	0	•	2	0	0	0	11
		国際理解と宗教 I	1前	Ē	6	2	U	_		U	U	U	1
	国	(キリスト教) 国際理解と宗教 II	1後			2							1
	際	(イスラム教)	1仮										
	理	国際関係論 比較文化論	1後			2							1
	解	比較又化論 海外研修·国際交流	1前 1通			2 2							1 2
共通	歴	小計(5 科目) 歴史学	- 1#	_	0	10	0	0	0	0	0	0	5
通教	史と	文学	1前 1後			2							1
育	文	色彩のデザイン	1前		_	2	0	_	0	_	0	0	3
科目	化	小計(3科目) 地域文化論	1後	Ē	0	2	U	0	U	0	U	U	1
-	地	建築デザインと地域 地域と文化財	1後 1前			2							1
	域 に	地域資料を読む	1後			2							1
	学	日本の伝統文化 「将棋」を学ぶ	1前			2							1
	ぶ	「符供」を学ふ ファシリテーション入門	1前		L	2		L	L	L	L		3
	現	小計(6科目) 哲学	1	_	0	12	0	0	0	0	0	0	5
	代	日本国憲法	1前 1前		2	2							1
	社会	人権の歴史	1前			2							1
	を読	政治学 社会学	1前 1前			2							1
	2+	経済学	1前			2							1
	解く	小計(6科目)	-	-	2	10	0	0	0	0	0	0	6
		生命倫理学	1前			2							1
		心理学 化学	1前 1前			2							1
	自然	生物学 身のまわりの科学	1前			2							1
	然と	プログラミング入門	1前 1後			2							2
	科	ICT・データ活用入門	1前			2							2
	学	数学基礎 AI・データサイエンス	1後			2							1
		活用論	1後		_	2		_		_	_		1
	<	小計(9科目) 食と健康	1後	_	0	18 2	0	0	0	0	0	0	8 1
	らし	健康・スポーツ科学 I (講義)	1後		2								2
	と健	健康・スポーツ科学 II (実技) 健康・スポーツ科学 II (実技)	1前 1後			1							2
	康	小計(4科目)	-	-	2	4	0	0	0	0	0	0	5
	+ + :	わたしのためのキャリ ア設計	1前			2							1
	リア	ヒューマンサービスと	4後			2							3
	デザ	マネジメント 3 即 ボラン・ティア											
	イン	<u>入門ボランティア</u> 小計(3科目)	1通	-	0	6	0	0	0	0	0	0	3 7
			•	•									

Г					j	単位数	女	専	任教	員等	の配i	置	兼任
1	科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			クラスゼミナール I クラスゼミナール II	1前 1後	2			3	1	1			
		ž	クラスゼミナール皿	2前	2			2	2	1			1
			クラスゼミナールⅣ	2後	2			2	2				
			卒業研究 I	3前	2			9	8	2			
		レ 斗	卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ	3後	2			9	8	2			
	E	1	卒未研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ	4前 4後	2			9	8	2			
			小計(8科目)	-	16	0	0	9	8	2	0	0	0
			こどもと健康	1前		1							1
			こどもと人間関係 こどもと環境	1前 1後		1			1				
		幼	こどもと言葉	1前		1			1				1
	教	児	こどもと表現	1後		1		1	1				1
	育・	教育	こどもとサイエンス	2後		1			1				
	保弃		(こどもと科学遊び)	044									
	育実	保育	保育内容総論 保育内容「健康」の指導法	2後 2後		1 2							1
	践科	内容	保育内容「人間関										
1	目	科	係」の指導法	2後		2							2
1		目	保育内容「環境」の指導法	2前		2							1
1			保育内容「言葉」の指導法 保育内容「表現」の指導法	2後		2		1	1				1
1			休育内容 表現」の指導法 小計(12科目)	2前 -	0	17	0	1	4	0	0	0	5
1	T		音楽I	1前	Ť	1		Ė	2	Ť	_		Ť
			音楽Ⅱ	1後		1			2				
			総合表現教育Ⅰ	1後		1		1	1				1
			総合表現教育 II 教師・保育者論	2前 3前		1 2		1	1				1
			教育・保育の課程と評価	2前		2			1				
			幼児理解	2後		1		1					
			保育原理	1前		2			1				
車	教	幼児	こども家庭福祉 社会福祉	2前 1前		2		1 2					
門	育	教	たる価値 こども家庭支援論	2前		2		2					1
教育	保	育・	こども家庭支援の心理学	3後		2							1
科	育	保育	こどもの保健	1後		2							1
目	実践	育内	こどもの食と栄養 I こどもの食と栄養 II	2前		1							1
	科目	容科	乳児保育 I	2後 1前		1 2							1
			乳児保育Ⅱ	1後		1							1
			こどもの健康と安全	2後		1							1
			特別支援教育Ⅰ	2前		1			1				
			特別支援教育 Ⅱ 社会的養護 I	2後 2前		1 2			1				1
1			社会的養護Ⅱ	3前		1							1
1			子育て支援	2後		1							1
1			青年心理学	3後		2		1					L
1	-		小計(24科目) 初等国語科内容論	- 1前	0	35 1	0	1	5	0	0	0	9
1			初等社会科内容論	1前		1		1					
1	教育	初	初等算数科内容論	1後		1		1					
1	育・	等	初等理科内容論	1前		1			1				
1	保育	教科	初等生活科内容論 初等音楽科内容論	1後		1		1	4				
1	実	内容	初寺百条科内谷	1前 1後		1		1	1				
1	践科	科	初等家庭科内容論	1前		1		l .					1
1	目	Ħ	初等体育科内容論	1後		1							1
1			初等英語科内容論	1後		10		<u> </u>		_	_		1
1	-		小計(10科目) 初等国語科教育法	_ 2後	0	10	0	1	2	0	0	0	3
1			初等社会科教育法	2後		2		1					
1	教育	初等	初等算数科教育法	2前		2		1					
1	-	教	初等理科教育法	2後		2			1				
1	保育	科指	初等生活科教育法 初等音楽科教育法	2前 2後		2		1	1				
1	実	導	初等図画工作科教育法	2前		2		1	'				
1	践科	法科	初等家庭科教育法	2後		2							1
1	Ħ	III	初等体育科教育法	2前		2							1
1			初等英語科教育法	2前		2		<u> </u>		_	_		1
ட			小計(10科目)		0	20	0	4	2	0	0	0	3

				配	主要	į	単位数	y	基	幹教	員等	の配	置	の基 を教幹
	¥目 ≅分		授業科目の名称	当年	授業科	必	選	自	教	准教	講	助	助	に除く) (員(助 (教員以
			L1*-	次	科目	修	択	由	授	授	師	教	手	助以 手 外
			クラスゼミナール I クラスゼミナール II	1前	0 0	2			4	1				
	1		クラスゼミナール II クラスゼミナール III	1後 2前	0 0	2			3	1	1			
	3		クラスゼミナールIV	2街	0	2			2	3	'			
	1		卒業研究 I	3前	0	2			12	6	1			
	J		卒業研究Ⅱ	3後	0	2			12	6	1			
	₹ E	} }	卒業研究Ⅲ	4前		2			12	6	1			
			卒業研究Ⅳ	4後		2			12	6	1			
			小計(8科目)	-	-	16	0	0	12	6	1	0	0	0
			こどもと健康こどもと人間関係	1前	0 0		1			1				1
			こどもと環境	1前 1後	0 0		1		1	'				
		幼	こどもと言葉	1前	0		1		1					
	教	児	こどもと表現	1後	0		1		2					1
	育・	教育	こどもとサイエンス	2後	0		1			1				
	保		(こどもと科学遊び)											
	育実	保育	保育内容総論	2後	0		1							1
	践	内	保育内容「健康」の指導法	2後	0		2							1
	科目	容科	保育内容「人間関 係」の指導法	2後	0		2		1					
		科目	保育内容「環境」の指導法	2前	0		2		1					
			保育内容「言葉」の指導法	2後	0		2		1					
			保育内容「表現」の指導法	2前	0	L	2		1		L	L		2
			小計(12科目)	-	1	0	17	0	4	2				3
			音楽I	1前	0		1		1					1
			音楽Ⅱ	1後	_		1		1					1
			総合表現教育 I 総合表現教育 II	1後	0		1		1					2
			総古表現教育 I 教師・保育者論	2前 3前	0 0		1 2		1	1				2
			教育・保育の課程と評価	2前	0		2		1	'				
			幼児理解	2後	O		1		1					
			保育原理	1前			2		1					
		幼	こども家庭福祉	2前			2		1					
専門	教育	児教	社会福祉	1前			2		1					1
教		育	こども家庭支援論	2前			2		1					
育	保育	/₽	こども家庭支援の心理学	3後			2							1
科目	実	保育	こどもの食と栄養I	1後 2前			2							1
	践	実	こどもの食と栄養Ⅱ	2後			1							1
	科目	践科		1前			2		1					
	_	Ħ	乳児保育Ⅱ	1後			1		1					
			こどもの健康と安全	2後			1							1
			特別支援教育I	2前	0		1			1				
			特別支援教育Ⅱ	2後	0		1			1				
			社会的養護 I 社会的養護 II	2前			2		1					,
			社会的後護士 子育て支援	3前 2後			1							1
			青年心理学	3後			2		1					
			小計(24科目)	-	-	0	35	0	6	2	0	0	0	8
			初等国語科内容論	1前	0		1		1					
	,,,		初等社会科内容論	1前	0		1		1					
	教育	初	初等算数科内容論	1後	0		1		1					
	-	等教	初等理科内容論	1前	0 0		1		١.	1				
	保育	科	初等生活科内容論初等音楽科内容論	1後	0 0		1		1					4
	実	内容	初等百条件內容調	1前 1後	0		1		1					1
	践	谷科	初等家庭科内容論	1前	0		1		l .					1
	科目	Ħ	初等体育科内容論	1後	0		1							1
			初等英語科内容論	1後	Ō	L	1		L		L			1
			小計(10科目)	-	-	0	10	0	4	1	0	0	0	4
			初等国語科教育法	2後	0		2		1					
	教	初	初等社会科教育法	2後			2		1					
	教育	等	初等算数科教育法 初等理科教育法	2前 2後			2		1	1				
	· 保	教科	初等生活科教育法	2伎 2前	0 0		2		1	'				
	符育	科指	初等音楽科教育法	2後	0		2		l .					1
	実	導	初等図画工作科教育法	2前	0		2		1					
	践科	法科	初等家庭科教育法	2後	0		2							1
	Ħ	目	初等体育科教育法	2前	0		2							1
			初等英語科教育法	2前	0	_	2		_					1
			小計(10科目)	-	-	0	20	0	4	1	0	0	0	4

				j	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	}	授業科目の名称	配 当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
<u> </u>	1			修	択	由	授	授	師	教	手	担
_	こども支援	個別教育計画概論個別教育計画作成演習	2前3後	1	2		1					
	発展	小計(2科目)	- -	1	2	0	1	0	0	0	0	0
	学校	ふれあい体験活動	1後		1		1	_				
	地	インターンシップ I インターンシップ I	2通 3通		1		4	2	1			
	域教育	防災とコミュニティ	3前	2			3	'	'			1
専門	活動発	子育て支援地域活動 I	2前後		1			1				
教育教		子育て支援地域活動 Ⅱ	3前後	_	1	0	_	1		_	_	1
科職目発		小計(6科目) 学校教育におけるICT活用	1後	2	5	0	7	4	1	0	0	1
展科		情報社会と情報モラル教育	1後		2			1				•
目	Т	情報活用の実践Ⅰ	2前		2		3	2				1
	活用	情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)	2後		2		1	2				2
	科目	教育データの利活用	3前		2			1				1
		小計(5科目)	-	2	8	0	4	3	0	0	0	3
	特別支	発達障害児への支援 社会的スキルトレーニン	3後		2				1			
	援保	グの理論と実践スクールソーシャルワーク論	4前 2前		2							1
	育発展	こども音楽療育論	3後		2			1				
	科目	小計(4科目)	-	0	8	0	0	1	1	0	0	2
		教育の思想と原理 教育史	1前	2	2							2
		教育哲学	3後 2前		2							1 2
	教	教職入門	1前	2			1					
	職	教育制度論	1後	2	_		1					
教	基礎	教育社会学 教育心理学	2後 3前	2	2		1					1
職		発達心理学	1後	1	2		1					
保		*/- ** === *0 = ^										
育キ		教育課程論 学校組織マネジメント	1後	2	2		1					,
ヤ		小計(10科目)	3後 -	10	10	0	3	0	0	0	0	5
リア		道徳教育論	2前		2		1					
科目		総合的な学習の理論と実践特別活動論	2後		2		1	1				
	職		3前 1後		2		2	1				
	支援	教育におけるICT活用の理	2前		2			1				
	科目	生徒指導論	2後		2							1
		教育相談	2後		2				1			
		小計(7科目)	-	0	14	0	2	2	1	0	0	1

特別					配	王要	Ĺ	单位数	女	基	幹教	員等	の配詞	置	の基 を教幹
東語学	科区	目分		授業科目の名称			必	選	自	教		講	助	助	除員教
実際					次	科	修	択	由	授		師	教	手)助以 手外
国際英語論								2		1					
英語学演習 3歳															
英語学演習 3後 ○ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										-					
英語文学特論										-					
英語文学保験					7.7					-					
英語文学作品研究 2前 ○ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										•					
中 英語文学演習 3前 ○ 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
東京			中			_									1
・		教	Ė	英語文学特論	4前	0		2							1
保育		Ħ	高生	異文化コミュニケーション論	1後	0		2		1					
大き 1 1 1 1 1 1 1 1 1		_	教	異文化交流演習	2後	0		2		1					
計算		育	育		3前	0		2		1					
中国		美姓	恒導	_	-			-							
Table Ta				_							-				
English Communication Side 2 前		目		•											
Part				_							1				
Academic Presentation 美語科教育法 2前 2前 2											-				
英語科教育法Ⅱ 2歳 2歳 1 2歳 2歳 1 2歳 2歳				_		_									
英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅲ 五十 五十 五十 五十 五十 五十 五十 五								-		1	•				
東部科育法IV 小計(24科目)															
小計(24科目)				英語科教育法皿	3前	0		2		1					
画別教育計画概論 2前 2				英語科教育法Ⅳ	3後	0		2		1					
Part				小計(24科目)	-	-	0	41	0	2	1	0	0	0	2
Part			i z		2前			2		1					
専門教育科目 本部 小計(2科目)			科支援		224		1			1					
専門教育科目 1後 1			発		3夜	-	_	2	0		0	0	0	0	0
専門教育科目 本記 マンターンシップ I 3通 ○ 1 4 1 3 2 3 3 2 3 3 3 2 3 3					1後	С		-		_		_	_	_	Ů
専門教育科目 Table Ta											1				
下の形式 で表現 で			域	インターンシップ Ⅱ	3通	0		1		3	2				
門教育 表	専		育	防災とコミュニティ	3前		2								1
育科目 ***********************************			助発	子育て支援地域活動 I	2前後	0		1		2	1				
科目 Part			科	子育て支援地域活動 II	3前後	0		1		2	1				
日 学校教育におけるにて活用 1後 ○ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1			Ħ	小計(6科目)	-	_	2	5	0	10	4	0	0	0	1
日報社会に開報モラル教育 1後 2 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		発	ī			0	2								1
Table Ta						_									
用 (デジタル教科書の活用音会な)															
科教育データの利活用 3前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					2後	O		2		2	1				1
日 小計(5科目)			科		っ台			2			1				1
特別支援機能 Province			目		9 刑リ	_	2		n	4		n	n	n	_
社会的スキルトレーニン					3後			-	Ū	7	-			0	
Table			支	社会的スキルトレーニン											1
Table Ta			保												
** 小計(4科目)			発							1					
教育の思想と原理 教育史 教育哲学(未開講) 教職入門 1前			科		- 区	-	0		0		0	1	0	0	2
教育史			i,i		1前	0	_					Ė			-
数職入門 1前 ○ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				教育史				2							1
数 教育制度論 1後 ○ 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				教育哲学(未開講)	2前	0		2							1
職 教育制度論 1後 〇 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 4 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			纵	教職入門	1前	0	2				1				1
基 教育社会学 2後 ○ 2 1 1 1 数					1後	0	2				1				
職科 日 特別支援教育の基礎 3前 〇 2 1 1 1		400	基		2後			2							1
1							2								
保 特別支援教育の基礎 3前 ○ 2 1 1		400				_				1					
								2			1				
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							2	_		1					
7					3後	0	10	2	0	•	0	0	0	0	5
		-			2前		10		U			U	U	U	3
ア 1 短 添 外 月 調 科 総合的な学習の理論と実践 2 前 2 1 1															1
		_	教												, i
			職								1				1
支 教育におけるICT活用の理 の並			7.7	教育におけるICT活用の理											
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
科 生徒指導・連路・キャリア教 目 育の理論及び方法 2後 〇 2 1			目												
教育相談 2後 0 2 1					2後	0	_		_			_	_	_	
小計(7科目)	Ш			小計(/科目)	L	Ľ	0	14	U	1	2	0	U	U	1

					Ĺ	単位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	•
'	<u>-</u> /,			T 00	修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼扣
\vdash			教職実践演習(小学校)	4後	195	2	Н	1×	ΣŢ	וום	狄		7=
			保育·教職実践演習	4後		2			1				
			幼稚園教育実習	4通		4			1				
			小学校教育実習	3後		4			1				
		教		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		·							
		戦職		i									
			特別支援教育実習	4通		2		1	1	2			
	教職	践	幼稚園教育実習リフレク	4通		1			1				
	4敗	科目	ション 小学校教育実習リフレク										
	保		ション	3通		1			1				
	育			i									
	キャ		特別支援教育実習リフレ	4通		1		1	1	2			
	IJ		クション 小計(8科目)	7,00	0	17	0	2	3	2	0	0	0
	ア		パ 高 I (0代) 日 / 保育実習指導 I (保育所)	_ 2前	U	1	U		1		U	U	U
	科		保育実習 I (保育所)	2前		2			1				
	目		保育実習指導I(施設)	2後		1		1	1				
専		保	保育実習 I (施設)	2後		2		1	1				
門 教		育	保育実習指導Ⅱ	3前		1			1				
育		実習	保育実習Ⅱ	3前		2			1				
科目		В	保育実習指導Ⅲ	3前		1		1	1				
P			保育実習Ⅲ	3前		2		1	1				
			小計(8科目)	-	0	12	0	1	2	0	0	0	0
	特別支援教育総論		1後		2		1	1	2				
			知的障害児の心理・生理・病理	2前		2				1			1
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2				1			1
	#	ŧ	病弱児の心理・生理・病理	2後		2				1			1
		il)	知的障害児の教育課程と指導法	3前		2				1			
		Ę	肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2		1		1			
		爰 牧	病弱児の教育課程と指導法	3後		2							1
		X T	知的障害教育総論	2後		2				1			
		į	肢体不自由教育総論	2後		2		1					
		f	病弱教育総論	3後		2							1
		4	視覚障害教育総論	4前		2							1
	E	1	聴覚障害教育総論	4前		2			1				
			重複·発達障害教育総論	3前		2		1	1	2			
1			心理検査法	3前		2			1	1			
					0	28	0	1	1	2	0	0	4
L			小計(14科目) ·計(176科目)	_	43	266	0	10	8	2	0	0	62

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))

				配	王要	j	単位数	女	基	幹教	員等	の配	置	の基 を教幹
	は日本		授業科目の名称	当年	授業	必	選	自	教	准	講	助	助	除員教
	<u>~</u> /J			次	科	修	+0	曲	授	教授	師	教	手) 助以 手外
-			教職実践演習	4後	0	119	択	Щ	1	按	Pili	叙	-	H
			保育·教職実践演習	4後	0		2		'	1				
			幼稚園教育実習	4通	0		4			1				
			小学校教育実習	3後	0		4			1				
		教	中学校教育実習	4通	Ö		4		2	1				
		散職	高等学校教育実習	4通	Ō		2		2	1				
	l	実	特別支援教育実習	4通	0		2		1	2	1			
	教	践	幼稚園教育実習リフレク	4通	0		1			1				
	職	1-1	ション 小学校教育実習リフレク		_		l '							
	保	目	ション	3通	0		1			1				
	育		中学校・高等学校教育 実習リフレクション	4通	0		1		2	1				
	+		特別支援教育実習リフレ	1,3	_		1							
	ヤリ		クション	4通	0				1	2	1			
	ア		小計(11科目)	-	_	0	24	0	4	5	1	0	0	0
	科		保育実習指導 I (保育所)	2前			1		1					
	目		保育実習 I (保育所)	2前			2		1					
専		保	保育実習指導 I (施設) 保育実習 I (施設)	2後			1		1					
門		育	休月美省 I (施設) 保育実習指導 II	2後			2		1					
教		実	休月美百拍得Ⅱ 保育実習Ⅱ	3前			1		1					
育科		習	休月夫百Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	3前			2		1					
目目			休月美百拍得业 保育実習Ⅲ	3前			1		1					
Ι –				3前		_	2	•	1	_	_	_	_	
	小計(8科目) 特別支援教育総論				0	0	12	0	3	0	0	0	0	0
			知的障害児の心理・生理・病理	1後 2前	0		2		'	2	'			١, ١
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2削 2前	0		2			•				1 2
	4	±	病弱児の心理・生理・病理	2例	0		2							2
		寺 訓	知的障害児の教育課程と指導法	3前	0		2		1		1			_
		支	肢体不自由児の教育課程と指導法	3後	0		2		1					
1	ŧ		病弱児の教育課程と指導法	3後	0		2		l '		'			1
	-	牧	知的障害教育総論	2後	0		2		1		1			
1		育	肢体不自由教育総論	2後	0		2		1		'			
		専門	病弱教育総論	3前	0		2							1
		4	視覚障害教育総論	4前	0		2							
	Ė		聴覚障害教育総論	4前	0		2			1				
			重複·発達障害教育総論	3前	0		2		1	1	1			
1			心理検査法	3前	0		2		l	1	l			
			小計(14科目)		-	0	28	0	1	2	1	0	0	6
	合計(219科目)					43	342	0	14	7	1	0	0	68
\vdash		_		_	4 au 1	ت	园 炒-			•		L	L_	

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から5単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))

【令和6年度】

単位数 専任教員等の配置 任 科目 配 当年 次 選 白 教 准 謙 助 助 授業科目の名称 区分 教 兼 担 宗教と人生 1後 2 1 硉 仏教と現代社会 1後 兵庫大学の学びと和 1後 2 2 の 地域と仏教 1前 2 1 兵大京都学 1後 2 小計(5科目) 2 6 0 0 0 0 0 0 4 日本語(読解と表現) 1前 2 英語 1後 2 2 実用英語 I 1後 2 1 実用英語Ⅱ 2前 2 1 中国語(初級) 1前 2 1 中国語(中級) 1後 韓国語(初級) 1前 2 韓国語(中級) 1後 2 1 3 コンピュータ演習 1前 2 1 コンピュータグラ 1後 2 2 フィックの基礎 小計(10科目) 14 0 0 0 0 6 0 0 9 国際理解と宗教 I 1前 2 (キリスト教) 玉 国際理解と宗教 II 1後 2 1 (イスラム教) 理 国際関係論 1後 2 比較文化論 1前 小計(4科目) 0 8 0 0 0 0 0 0 4 歴史学 1前 1 2 史 文学 1後 2 と文 色彩のデザイン 1前 2 化 小計(3科目) 0 6 0 0 0 0 0 0 3 地域文化論 1後 2 1 建築デザインと地域 1後 2 1 通教育科目 地域と文化財 1前 2 域 地域資料を読む 2 1後 1 日本の伝統文化 「将棋」を学ぶ 学 1前 2 ぶ ファシリテーション入門 1前 小計(6科目) 0 0 12 0 0 0 0 0 0 5 1前 2 1 日本国憲法 1前 2 社 人権の歴史 2 1前 1 政治学 1前 2 を読 社会学 1前 2 1 経済学 1前 2 解 小計(6科目) 10 0 2 0 0 0 0 0 0 6 生命倫理学(未開講) 1前 2 心理学 1前 2 1 化学 1前 2 生物学 1前 2 1 自 身のまわりの科学 1前 2 2 プログラミング入門 1後 2 ICT・データ活用入門 1前 2 2 数学基礎 2 AI・データサイエンス 活用論 1後 2 小計(9科目) 0 0 0 0 0 18 0 0 8 食と健康 1後 2 1 健康・スポーツ科学 I (講義 1後 2 2 健康・スポーツ科学 II (実技) 1前 2 1 健康・スポーツ科学皿(実技 1後 健 小計(4科目) 康 0 0 0 2 4 0 0 0 5 キャリ わたしのためのキャリ ア設計 1前 2 ヒューマンサービスと マネジメント 4後 3 2 入門ボランティア 1通 2 3 小計(3科目) 0 6 0 0 0 0 0 0 6

【令和5年度】

_	科目 授業科目の名称			į	单位数	έt	車	1任教	員等	の配	置	兼
	日区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
		宗教と人生	1後	<u>修</u>	択	由	授	授	師	教	手	担 1
	建	仏教と現代社会	1後	_	2							1
	学 の	兵庫大学の学びと和	1後		2							2
	精	地域と仏教	1前		1							2
	神	兵大京都学	1後		1							2
		小計(5科目)	-	2	6	0	0	0	0	0	0	4
		日本語(読解と表現) 英語	1前 1後	2								1
	_	実用英語 I	1後	_	2							1
	1	実用英語Ⅱ	2前		2							1
	그 =	中国語(初級)	1前		2							1
	ケ	中国語(中級)	1後		2							1
		韓国語(初級)	1前		2							1
	ショ	韓国語(中級) コンピュータ演習	1後 1前	2	2			1				1
	ン	コンピュータグラ		2								
		フィックの基礎	1後		2							2
		小計(10科目)	-	6	14	0	0	1	0	0	0	8
		国際理解と宗教Ⅰ	1前		2							1
	国	(キリスト教) 国際理解と宗教 II	1後		2							1
	際	(イスラム教)	11友		2							'
	理解	国際関係論	1後		2							1
	7,17	比較文化論	1前		2							1
		小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	歴	歴史学	1前		2							1
	史と	文学	1後		2							1
	文	色彩のデザイン	1前		2							1
	化	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	3
ш.		地域文化論	1後		2							1
共通	地	建築デザインと地域	1後		2							1
教	域	地域と文化財 地域資料を読む	1前 1後		2							1
育科	に学	日本の伝統文化										
目	ડેં	「将棋」を学ぶ	1前		2							1
		ファシリテーション入門	1前	_	2	•	•	•	•	•	_	3
ŀ		小計(6科目) 哲学	_ 1前	0	12	0	0	0	0	0	0	5 1
	現 代	日本国憲法	1前	2	2							1
	社	人権の歴史	1前	_	2							1
	会 を	政治学	1前		2							1
	読	社会学	1前		2							1
	み 解	経済学	1前		2							1
	<	小計(6 科目)	_	2	10	0	0	0	0	0	0	6
ŀ		生命倫理学	1前	_	2	J	,	J	J	J	J	1
		心理学	1前		2							1
		化学	1前		2							1
	自	生物学	1前		2							1
	然と	身のまわりの科学	1前		2							2
	科	プログラミング入門 ICT・データ活用入門	1後 1前		2 2							1 2
	学	数学基礎	1後		2							1
		AI・データサイエン	1後		2							1
		ス活用論	-	_		•	•	•	•	•	_	
ŀ	<	小計(9科目) 食と健康	1後	0	18	0	0	0	0	0	0	8
	b	健康・スポーツ I (講義)	1後	2	_							1
	ل ځ	健康・スポーツⅡ(実技)	1前	l -	1							2
	健	健康・スポーツⅢ(実技)	1後		1							1
ļ	康	小計(4科目)	-	2	4	0	0	0	0	0	0	4
	+ +	わたしのためのキャリ ア設計	1前		2							1
	リアー	ヒューマンサービスと マネジメント	3後		2							3
	デザ	スペンメント 入門ボランティア	1通		2							3
	イン	小計(3科目)		0	6	0	0	0	0	0	0	6

9

					j	単位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			クラスゼミナール I クラスゼミナール I	1前 1後	2			3 3	2				
	1	ž	クラスゼミナール皿	2前	2			3	1	1			
	7	۲	クラスゼミナールⅣ	2後	2			2	2				
		l レ	卒業研究 I 卒業研究 Ⅱ	3前 3後	2			10 10	7	1			
	Ŧ	4	卒業研究Ⅲ	4前	2			10	7	1			
		1	卒業研究Ⅳ	4後	2			10	7	1			
			小計(8科目) こどもと健康	- 1前	16	0	0	10	7	1	0	0	1
			こどもと人間関係	1前		1			1				'
		幼	こどもと環境	1後		1		1					
	教育	児教	こどもと言葉 こどもと表現	1前 1後		1		2	1				1
	育・	叙 育	こどもとサイエンス	2後		1		-	1				
	保育	· 保	(こどもと科学遊び)										
	実	育	保育内容総論 保育内容「健康」の指導法	2後 2後		1 2							1
	践科	内容	保育内容「人間関係」	2後		2		1					'
	Ħ	科	の指導法 保育内容「環境」の指導法	2前		2		1					
		目	保育内容「言葉」の指導法	2後		2		l .	1				
			保育内容「表現」の指導法	2前		2		2					1
			小計(12科目) 音楽 I	_ 1前	0	17	0	2	3	0	0	0	2
			音楽Ⅱ	1後		1		2					
			総合表現教育I	1後		1		2					1
			総合表現教育 Ⅱ 教師・保育者論	2前 3前		1 2		2	1				1
			教育・保育の課程と評価	2前		2			1				
			幼児理解	2後		1		1					
		幼	保育原理 こども家庭福祉	1前		2			1				
専	教	児	社会福祉	2前 1前		2		1 2					
門	育・	教育	こども家庭支援論	2前		2		1					
教育	保弃	•	こども家庭支援の心理学	3後		2							1
科	育実	保育	こどもの保健 こどもの食と栄養 I	1後 2前		2							1
目	践	内	こどもの食と栄養Ⅱ	2後		1							1
	科目	容科	乳児保育 I	1前		2			1				
		目	乳児保育Ⅱ こどもの健康と安全	1後 2後		1			1				1
			特別支援教育I	2前		1			1				'
			特別支援教育Ⅱ	2後		1			1				
1			社会的養護 I	2前		2							1
1			社会的養護 II 子育て支援	3前 2後		1							1
			青年心理学	3後		2		1					
1	L		小計(24科目)	-	0	35	0	6	4	0	0	0	7
			初等国語科内容論 初等社会科内容論	1前 1前		1		1					
1	教育	初	初等算数科内容論	1後		1		1					
1	-	等教	初等理科内容論	1前		1			1				
	保育	科	初等生活科内容論 初等音楽科内容論	1後 1前		1		1					
	実	内容	初等図画工作科内容論	1後		1		1					
1	践科	科	初等家庭科内容論	1前		1							1
1	目	目	初等体育科内容論 初等英語科内容論	1後 1後		1							1
1			小計(10科目)	-	0	10	0	5	1	0	0	0	3
1			初等国語科教育法	2後		2		1					
1	教	初	初等社会科教育法 初等算数科教育法	2後 2前		2		1					
1	育・	等教	初等异数科教育法	2街		2		'	1				
	保.	科	初等生活科教育法	2前		2		1					
1	育実	指導	初等音楽科教育法	2後		2		1					
1	践	法	初等図画工作科教育法 初等家庭科教育法	2前 2後		2		1					1
1	科目	科目	初等体育科教育法	2前		2							1
	1	I	初等英語科教育法	2前		2							1
<u></u>			小計(10科目)	-	0	20	0	5	1	0	0	0	3

				配当必選		单位数	女	専	任教	員等	の配i	置	兼任
₹ [2	¥目 ⋜ 分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
			クラスゼミナール I	1 24	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	ı	ž	クラスゼミナールⅡ	1前 1後	2			3	1 3	1			
	3		クラスゼミナール皿	2前	2			3	1	1			
	7	⊦ 	クラスゼミナールⅣ 卒業研究 I	2後 3前	2			2 10	2 7	2			
		レ	卒業研究Ⅱ	3後	2			10	7	2			
	₹ E	화 3	卒業研究Ⅲ	4前	2			10	7	2			
		-	卒業研究Ⅳ	4後	16	0	0	10 10	7	2	0	0	0
			小計(8科目) こどもと健康	1前	10	1	U	10	7	2	U	U	0
			こどもと人間関係	1前		1			1				
		幼	こどもと環境 こどもと言葉	1後 1前		1			1				1
	教育	児教	こどもと表現	1後		1		1	1				1
	•	育	こどもとサイエンス	2後		1			1				
	保育	保	(こどもと科学遊び)	044									
	実	育	保育内容総論 保育内容「健康」の指導法	2後 2後		1 2							1
	践科	内容	保育内容「人間関係」	2後		2							2
	Ħ	科	の指導法 保育内容「環境」の指導法	2前		2							1
		目	保育内容「言葉」の指導法	2後		2			1				
			保育内容「表現」の指導法 小計(12科目)	2前	0	2 17	0	1	3	0	0	0	1
			小計(12件日) 音楽 I	 1前	U	1	U	1	1	U	U	U	Z
			音楽Ⅱ	1前		1		1	1				
			総合表現教育 I 総合表現教育 II	1後		1		2					1
			松口衣玩教育 II 教師·保育者論	1後 2前		1		2	1				1
			教育・保育の課程と評価	3前		2			1				
			幼児理解	2前		1		1					
		幼	保育原理 こども家庭福祉	2後 1前		2		1	1				
専	教育	児教	社会福祉	2前		2		2					
門数		育	こども家庭支援論	1前		2							1
教育	保育	· 保	こども家庭支援の心理学 こどもの保健	2前 3後		2							1
科目	実	育	こどもの食と栄養I	1後		1							1
п	践科	内容	こどもの食と栄養Ⅱ	2前		1							1
	Ħ	科	乳児保育 I 乳児保育 II	2後 1前		2							1
		目	こどもの健康と安全	1後		1							1
			特別支援教育I	2後		1			1				
			特別支援教育Ⅱ	2前		1			1				
			社会的養護 I 社会的養護 II	2後 2前		2							1
			子育て支援	3前		1							1
			青年心理学	2後		2	•	1	4	•	_	_	_
			小計(24科目) 初等国語科内容論	_ 1前	0	35 1	0	6	4	0	0	0	7
	払っ		初等社会科内容論	1前		1		1					
	教育	初等	初等算数科内容論 初等理科内容論	1後		1		1	_				
	· 保	教	初等埋科内容論 初等生活科内容論	1前 1後		1		1	1				
	育	科内	初等音楽科内容論	1前		1		1					
	実践	容	初等図画工作科内容論	1後		1		1					
	科	科目		1前 1後		1							1
	目	[初等英語科内容論	1後		1							1
			小計(10科目)	-	0	10	0	5	1	0	0	0	3
			初等国語科教育法初等社会科教育法	2後 2後		2		1					
	教育	初等	初等算数科教育法	2前		2		1					
		教	初等理科教育法	2後		2			1				
	保育	科指	初等生活科教育法 初等音楽科教育法	2前 2後		2		1					
	実	導	初等図画工作科教育法	2前		2		1					
	践科	法科	初等家庭科教育法	2後		2							1
	Ħ	Ħ	初等体育科教育法 初等英語科教育法	2前 2前		2							1
			小計(10科目)	2削	0	20	0	5	1	0	0	0	3
			**										_

					<u>i</u>	単位数	女	車	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
			英語学概論 英語音声学	1前 1後		2		1					
			国際英語論	2後		2		1					
			英語文法論	3前		2		1					
			英語学演習	3後		2		1					
			英語学特論	4前		2		1					
			英語文学概論	1前		2							1
		中	英語文学作品研究 英語文学演習	2前 3前		2							1
	教	٠٠	英語文学特論	4前		2							1
	育	高生	異文化コミュニケーション論	1後		2		1					
	倮	教	異文化交流演習	2後		2		1					
	育虫	育指	英語圏地域研究	3前		2		1					
	践	導	Academic Reading I Academic Reading II	1前 2前		1			1				
	科目	法科	Academic Writing I	2回 1後		1			1				
	П	目	Academic Writing II	2後		1			1				
			English Communication Skills I	2前		1			1				
			English Communication Skills II	3前		1			1				
			Academic Presentation	4前		1			1				l
			英語科教育法 I 英語科教育法 II	2前 2後		2		1					İ
			英語科教育法皿	3前		2		1					
			英語科教育法IV	3後		2		i					İ
			小計(24科目)	-	0	41	0	2	1	0	0	0	1
	教職	ill be til	個別教育計画概論 (未開講)	2前		2		1					
	発展科	科支援	個別教育計画作成演習	3後	1			1		L	L		L
	科目	発展	小計(2科目)	-	1	2	0	1	0	0	0	0	0
		学材		1後		1		1	2				
			インターンシップ I インターンシップ I	2通		1		5 3	1				
		展 科目	防災とコミュニティ	3通 3前	2	1		3	1				1
専門		教目育	子育て支援地域活動 I	2前後	-	1			1				ľ
教		活動	子育て支援地域活動 🏻	3前後		1			1				
育科		角	3 H (ell H)	-	2	5	0	8	5	0	0	0	1
Ħ	教兴	I	学校教育におけるICT活用	1後	2				١.				1
	職発	С	情報社会と情報モラル教育 情報活用の実践 I	1後 2前		2		2	1				
	展和	T 活	情報活用の実践Ⅱ	2後		2		3 3	1				
	科目	用	(デジタル教科書の活用を含む)			-		ĺ					İ
		科目	教育データの利活用	3前		2			1				1
		特	小計(5科目)	-	2	8	0	5	2	0	0	0	2
		別支	発達障害児への支援 社会的スキルトレーニン	3後		2				1			1.
		援保	グの理論と実践	4前		2							1
		育発	スクールソーシャルワーク論 こども音楽療育論	2前 3谷		2		1					1
		展科目	小計(4科目)	3後 -	0	8	0	1	0	1	0	0	2
		п	教育の思想と原理	1前	2			Ė	Ť	Ė	Ť		1
			教育史	3後		2							1
			教育哲学(未開講)	2前		2							1
		教	教職入門	1前	2			2	2	1			1
		職基	教育制度論 教育社会学	1後 2後	2	2							1
	教		教育心理学	3前	2	_		1					l
	職	科目	発達心理学	1後	-	2		1					l
	保	П	特別支援教育の基礎	3前		2			1				İ
	育		教育課程論	1後	2			1					
	キャ		学校組織マネジメント	3後	10	2	0	•	•	4	0	0	1
	IJ	H	小計(11科目) 道徳教育論	2前	10	12 2	0	3 1	3	1	0	0	6
	ア科		総合的な学習の理論と実践	2前		2		1					1
		教	特別活動論	3前		2		1					1
	目				I	2			1		l		1
	目	職	教育方法·技術論	1後									١.
	目		教育におけるICT活用の	1後 2前		2			1				•
	目	職支援科	教育におけるICT活用の 理論と方法 生徒指導・進路・キャリア教	2前		2			1				
	目	職支援	教育におけるICT活用の 理論と方法						1				1 1

					ĺ	单位数	女	車	厚任教	員等	の配i	置	兼
Ŧ E	¥目 조 分		授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
	教職発	こども支援	個別教育計画概論	2前		2		1					
	展科目	日接発展	個別教育計画作成演習 小計(2科目)	3後 -	1	2	0	1	0	0	0	0	0
		学	ふれあい体験活動	1後	Ė	1	_	1	Ť	_	-	-	Ť
	1	杉田・地	インターンシップ I インターンシップ Ⅱ	2通		1		5	1 1	1			
		長均	防災とコミュニティ	3通 3前	2	1		3	'	1			1
		目育	 子育で支援地域活動 I	2前後	_	1			1				
		活動 6	子育て支援地域活動Ⅱ	3前後		1			1				
	¥h	角	小計(6科目) 学校教育におけるICT活用	1後	2	5	0	8	3	1	0	0	1
	教職	I	情報社会と情報モラル教育	1後	_	2			1				
	発展	C	情報活用の実践I	2前		2		3	2				1
	科	活用	情報活用の実践Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)	2後		2		2	1				2
	目	科目	教育データの利活用	3前		2			1				1
			小計(5科目)	-	2	8	0	5	2	0	0	0	3
		特別支	発達障害児への支援 社会的スキルトレーニン	3後		2				1			
専		援保	グの理論と実践	4前		2							1
門教		育発展	スクールソーシャルワーク論 こども音楽療育論	2前 3後		2			1				1
育		科目	小計(4科目)	-	0	8	0	0	1	1	0	0	2
科目			教育の思想と原理	1前	2	_							1
			教育史 教育哲学	3後 2前		2							1 2
		#4-	教職入門	1前	2	_		1					1
		教職	教育制度論	1後	2			1					
	#-	基礎	教育社会学	2後	_	2							1
	教職	科	教育心理学 発達心理学	3前 1後	2	2		1					
	· 保	目	特別支援教育の基礎	3前		2		l .	1				
	育		教育課程論	1後	2			1					
	キャ		学校組織マネジメント	3後	10	2	0	3	4	0	0	0	6
	リア	-	小計(11科目) 道徳教育論	2前	10	12 2	U	1	1	U	U	U	0
	ア科		総合的な学習の理論と実践	2後		2		1	1				
	目	教職		3前		2		2					
		支	教育方法・技術論 教育におけるICT活用の	1後		2			1				1
		援科	理論と方法	2前		2			1				
		Ħ	生徒指導・進路・キャリア教育の理論及び方法	2後		2							1
			教育相談 小計(7科目)	2後	0	2 14	0	2	2	1	0	0	2
			(J'BI (/1각다)		U	14	U		2		U	U	

					į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
					修	択	由	授	У	師	教	手	担担
			教職実践演習	4後		2		1					
			保育·教職実践演習	4後		2			1				
			幼稚園教育実習	4通		4			1				
			小学校教育実習	3後		4			1				
		教	中学校教育実習	4通		4		2	1				
		救職	高等学校教育実習	4通		2		2	1				
		実	特別支援教育実習	4通		2		1	2	1			
	教職	践科	幼稚園教育実習リフレク ション	4通		1			1				
	· 保	目	小学校教育実習リフレク ション	3通		1			1				
	育キ		中学校・高等学校教育 実習リフレクション	4通		1		2	1				
	・ヤリ		特別支援教育実習リフレ クション	4通		1		1	2	1			
	ア		小計(11 科目)	-	0	24	0	4	5	1	0	0	0
	科		保育実習指導 I (保育所)	2前		1			1				
	目		保育実習I(保育所)	2前		2			1				
専		/=	保育実習指導 I (施設)	2後		1		1	1				
門		保育	保育実習I(施設)	2後		2		1	1				
教		実	保育実習指導Ⅱ	3前		1			1				
育科		習	保育実習Ⅱ	3前		2			1				
目			保育実習指導Ⅲ	3前		1		1	1				
			保育実習Ⅲ	3前		2		1	1				
			小計(8科目)	-	0	12	0	1	2	0	0	0	0
			特別支援教育総論	1後		2		1	2	1			
			知的障害児の心理・生理・病理	2前		2			1				1
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2							2
		ŧ	病弱児の心理・生理・病理	2後		2							2
		IJ ⊨	知的障害児の教育課程と指導法	3前		2		1		1			
	Z ±	て 爰	肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2		1		1			
		友	病弱児の教育課程と指導法	3後		2							1
	Ŧ	ì	知的障害教育総論	2後		2		1		1			
		卓	肢体不自由教育総論	2後		2		1					
		9	病弱教育総論	3後		2							1
		화 를	視覚障害教育総論	4前		2			١.				1
		=	聴覚障害教育総論	4前		2			1	١.			
			重複·発達障害教育総論	3前		2		1	1	1			
			心理検査法	3前	L	2		L.	1	<u> </u>			Ļ
<u> </u>			小計(14科目)	_	0	28	0	1	2	1	0	0	6
L		合計(206 科目)			43	320	0	13	8	1	0	0	61

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職発展科目」から6単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。

《足どりにからこと。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))

					<u>í</u>	单位数	女	重	任教	員等	の配	置	兼任
	は日本		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
				,	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
			教職実践演習(小学校)	4後		2		1					
			保育·教職実践演習	4後		2			1				
			幼稚園教育実習	4通		4			1				
			小学校教育実習	3後		4			1				
		教		- 1					-				
		職実	特別支援教育実習	4通		2		1	1	2			
	教	美践	幼稚園教育実習リフレク	. —				'		_			
	職	科	ション	4通		1			1				
	١.	目	小学校教育実習リフレク ション	3通		1			1				
	保弃		737	. —									
	育キ												
	ヤヤリ		特別支援教育実習リフレ クション	4通		1		1	1	2			
	ア		小計(8科目)	-	0	9	0	2	3	2	0	0	0
	科		保育実習指導 I (保育所)	2前		1			1				
	目		保育実習 I (保育所)	2前		2			1				
専		_	保育実習指導 I (施設)	2後		1		1	1				
菛		保育	保育実習 I (施設)	2後		2		1	1				
教		月実	保育実習指導 Ⅱ	3前		1			1				
育		習	保育実習Ⅱ	3前		2			1				
科目		_	保育実習指導Ⅲ	3前		1		1	1				
-			保育実習Ⅲ	3前		2		1	1				
			小計(8科目)	-	0	12	0	1	2	0	0	0	0
	特別支援教育総論 1後		1後		2		1	1	2				
			知的障害児の心理・生理・病理	2前		2				1			1
			肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2				1			1
	#	‡	病弱児の心理・生理・病理	2後		2				1			1
	5		知的障害児の教育課程と指導法	3前		2				1			
	3		肢体不自由児の教育課程と指導法	3後		2		1		1			
	ŧ		病弱児の教育課程と指導法	3後		2							1
	孝		知的障害教育総論	2後		2				1			
	星		肢体不自由教育総論	2後		2		1					
1	F		病弱教育総論	3後		2			l	l	l		1
	Ŧ	-	視覚障害教育総論	4前		2							1
	E	1	聴覚障害教育総論	4前		2			1				
1			重複·発達障害教育総論	3前		2		1	1	2	l		
			心理検査法	3前		2			1	1			
	小計(14科目) -		0	28	0	1	1	2	0	0	4		
	合計(179科目) - 43 264 0 11 7 2 0 0							64					

卒業要件及び履修方法

『共通教育科目』から20単位以上、『専門教育科目』から92単位以上(「ゼミナール科目」から16単位、「教育・保育実践科目」から20単位以上、「教職・保育キャリア科目」から20単位以上を含む)及び『共通教育科目』『専門教育科目』のいずれかから124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間)(半期24単位))

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、

改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- ・「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、 「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は 「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。 その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、 「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員

(助手を除く) 」欄は「兼任・兼坦」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員 (大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」) 」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、

「基幹教員以外の教員(助手を除く) (大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」) 」数は、 認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。

(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。

その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。

新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。

(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

【令和5年度】

```
く共诵教育科日>
- 注当教員は歴めば知により、「王叩順性子」の派に教員で表文。
- 教育課程の見直しの理由により、「現代社会の理解」を削除。
- 教育課程充実の理由により、「ICT・データ活用入門」「数学基礎」「AI・データサイエンス活用論」を科目追加。
<専門教育科目>
〈専門教育科目〉・井上朋子准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更。「クラスゼミナールⅢ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師1」に変更。「クラスゼミナールⅢ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「講師2」から「教授10」「准教授7」「講師2」に変更。「卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授8」「講師2」から「教授10」に変更。「常合表現教育Ⅰ」の専任教員等の配置を「推教授2」から「教授1」「教授1」に変更。「総合表現教育Ⅰ」の専任教員等の配置を「推教授1」から「教授1」に変更。「初等音楽科内容論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。「初等音楽科教育法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。「初等音楽科教育法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。「インターンシップⅠ」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。「情報活用の実践Ⅱ(デジタル教科書の活用を含む)」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「准教授2」「兼2」から「教授2」「准教授1」「兼2」から「教授2」「准教授1」「兼
```

```
21に変更。
2] 「変更。
・担当教員辞退の理由により、「教育の思想と原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・教育内容充実の理由により、「教職入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
・教育内容充実の理由により、「教育方法・技術論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1」「兼1」に変更。
・教育内容充実の理由により、「生徒指導論」の科目名称を「生徒指導・進路・キャリア教育の理論及び方法」に変更。
・教育課程充実の理由により、「特別支援教育の基礎」を科目追加。
 【令和6年度】
 <共通教育科目>
 「日本国憲法」の兼任教員を変更。
「日本国憲法」の兼任教員を変更。
「健康・スポーツⅠ(講義)」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)」に変更。
「健康・スポーツⅡ(実技)」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)」に変更。
「健康・スポーツⅢ(実技)」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅲ(実技)」に変更。
 ・担当教員辞退の理由により、
・教育内容充実の理由により、
 ・教育内容充実の理由により、
 教育内容充実の理由により、
 ・教育内谷充美の理由により、「健康・スポーツⅢ(美技)」の科目名称を「健康・スポーツ科学Ⅲ(美技)」に3
・担当教員辞退の理由により、「食と健康」の兼任教員を変更。
・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ(講義)」の兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)」の兼任教員を変更。
・教育課程充実の理由により、「ヒューマンサービスとマネジメント」の開講時期を「3後」から「4後」に変更。
<専門教育科目>
く専門教育科目>
・教育課程充実の理由により、保坂芳男教授を採用。以下の科目について変更。
・「異文化コミュニケーション論」「異文化交流演習」「英語圏地域研究」「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅲ」「英語科教育法Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」
・「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」
 ・教育課程充実の理由により、笹平康弘兼担教員が教授に就任。以下の科目について変更。
・「英語学概論」「英語音声学」「国際英語論」「英語文法論」「英語学演習」「英語学特論」の専任教員等の配置を「教授1」
・「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」
・教育課程充実の理由により、Cuomo, Osaze Martin兼担教員が准教授に就任。以下の科目について変更。
・「Academic Reading I 」「Academic Reading II」「Academic Writing I 」「Academic Writing I 」「Finglish Communication Skills II」「Academic Presentation」の専任教員等の配置を「准教授1」
・「中学校教育実習」「高等学校教育実習」「中学校・高等学校教育実習リフレクション」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」
                                                                                                                                    「English Communication Skills I」
 ・立本千寿子准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更。
・「クラスゼミナールII」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」から「教授3」「准教授2」に変更。
・「こどもと表現」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼1」から「教授2」「兼1」に変更。
・「音楽 II」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
・「音楽 II」の専任教員等の配置を「教授1」「推教授1」から「教授2」に変更。
    ・「こども音楽療育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・藤野正和講師の准教授昇任に伴い、以下の科目について変更。
・「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授6」「講師2」から「教授10」「准教授
7」「講師1」に変更。
   ・「インターンシップII」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」に変更。
・「特別支援教育実習」「特別支援教育実習リフレクション」「特別支援教育総論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師2」から
教授1」「准教授2」「講師1」に変更。
   **「知り障害児の心理・生理・病理」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
・「重複・発達障害教育総論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師2」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
・「心理検査法」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」から「准教授1」に変更。
・教育内容充実の理由により、高畑芳美教授を採用。以下の科目について変更。
・「こどもと環境」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
・「保育内容「人間関係」の指導法」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1」へ変更。
・「保育内容「環境」の指導法」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」へ変更。
```

- ・古田薫教授退職に伴い、以下の科目について変更。 ・「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授9」「准教授8」「講師2」から「教授10」「准教授 7」「講師1」に変更。
 - ・「インターンシップ I 」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」に変更。 ・「教職入門」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授2」「准教授2」「講師1」「兼1」に変更。

【令和7年度】

<共通教育科目>

- 員」を変更。

<専門教育科目>

- ・「卒業研究 I 」「卒業研究 I 」「卒業研究 II 」「卒業研究 II 」「卒業研究 IV 」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授10」「専任教員 准教授7」「専任教員 講師1」から「基幹教員 教授12」「基幹教員 准教授6」「基幹教員 講師1」に変更。 ・「インターンシップ II 」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授3」「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授3」「基幹教員 准教授2」

- 井上朋子教授退職に伴い、以下の科目について変更
- ボエ加」がIXと呼ばに「FU、 & 「WIFTELL ON C. & X)。
 ・「卒業研究IV」「卒業研究IV」「卒業研究IV」「卒業研究IV」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授10」「専任教員 准教授7」「専任教員 講師1」から「基幹教員 教授12」「基幹教員 准教授6」「基幹教員 講師1」に変更。
 ・「保育内容「表現」の指導法」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授2」「兼1」から「基幹教員 教授1」「基幹教員以外の教員2」に変
- 更。
- 。 ・「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授2」から「基幹教員 教授1」「基幹教員以外の教員1」に変更。 ・「総合表現教育Ⅰ」「総合表現教育Ⅱ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授2」「兼1」から「基幹教員 教授1」「基幹教員以外の教員 21 に変更。
- ・「初等音楽科内容論」「初等音楽科教育法」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。 ・「インターンシップI」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授5」「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授4」「基幹教員 准教授1」
- ・石川・美准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更。 ・ 「クラスゼミナールI」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授3」「専任教員 准教授2」から「基幹教員 教授4」「基幹教員 准教授1」 に変更。
- ・「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授10」「専任教員 准教授7」「専任教員 講師1」から「基幹教員 教授12」「基幹教員 准教授6」「基幹教員 講師1」に変更。 ・「こどもと言葉」「保育内容「言葉」の指導法」「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 准教授1」から「基幹教員
- 教授1」に変更。
 「ふれあい体験活動」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授1」「専任教員 准教授2」から「基幹教員 教授2」「基幹教員 1」に変更
 「保育実習指導 I (保育所)」「保育実習 I (保育所)」の基幹教員等の配置を、「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・澤田真弓准教授の教授昇任に伴い、以下の科目について変更
- 「クラスゼミナールⅡ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授3」「専任教員 准教授2」から「基幹教員 教授4」「基幹教員 准教授1」 に変更
- |C 変更。
 「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」「卒業研究Ⅳ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 教授10」「専任教員 准教授7」「専任教員 講師1」から「基幹教員 教授12」「基幹教員 准教授6」「基幹教員 講師1」に変更。
 「教育・保育との課程と評価」「保育原理」の基幹教員等の配置を、「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
 「子育て支援地域活動Ⅰ」「子育て支援地域活動Ⅱ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授2」「基幹教員 准
- 教授1」に変更
 - ・「保育実習指導Ⅱ」「保育実習Ⅱ」の基幹教員等の配置を、「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「社会的養護 I 」の基幹教員等の配置を、「兼1」から「基幹教員 教授1」に変更。 ・担当教員辞退の理由により、「英語文学概論」「英語文学作品研究」の「基幹教員以外の教員」を変更。 ・担当教員辞退の理由により、「教育の思想と原理」の「基幹教員以外の教員」を変更。

- にヨ水資はためを出しより、「教育哲学」の「基幹教員以外の教員」を変更。 ・担当教員配置見直しの理由により、「保育実習指導I(指導)」「保育実習I(指導)」「保育実習指導Ⅲ」「保育実習Ⅲ」の基幹教員等の配置 を、「専任教員 教授1」「専任教員 准教授1」から「基幹教員 教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「病弱教育総論」の開講年度を「3後」から「3前」に変更。
- (注)・2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、
 - 主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 - 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の 適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員教授1」から「基幹教員教授1」に変更)や 兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合 (例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、 記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧かリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計)
22 科目	154 科目	0 科目	176 科目	22 科目 [一]	197 科目 [43]	0 科目 [一]	219 科目 [43]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と 設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位	数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	現代社会の理解	2		1•前	一般	選択	共通教育科目のカリキュラム改正に伴う廃止 代替措置無
2							
3							

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。 なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
 - (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

「現代社会の理解」は同類の教授内容である授業科目の精査に伴い廃止した。現代社会との関わり方を、市民活動・貧困問題・労働問題・政治参加・教育問題から考察する科目として、「日本国憲法」「人権の歴史」「政治学」「社会学」「経済学」の科目を配置しているため、学生の履修等への影響はない。

「学生への周知方法」

学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容				備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の			計		兵庫大学短期大学部と 共用
校		校舎	敷地	9		0 m²		82, 573	m²		0 m²		82, 5	573 m²	
地		そ の)他			0 m ²		10, 706	m²		0 m²		10, 7	'06 m [*]	
等		合	計			0 m ²		93, 279			0 m ²		93, 2	.79 m²	
					専	用	共	用		共用する 学校等の			計		
(2) 校		舎	à			132. 00 m²		29, 154. 11	m²	1, 7	73. 35 m²		31, 059.	46 m²	兵庫大学短期大学部と 共用
					(13	32. 00 m²)	(29,	154.11 m²) (1, 773. 3	85 m²)	(31	, 059. 46	m²)	
(3)教室	室・教	数員研究	室		教	室		95	室	教員研究	究室			<mark>23</mark> 22 20室	
					図書			学徘	強誌			1616-1-	4 =	1=-1	
(4)	휭	f設学部等 の名称	等	〔う	ち外国書〕	電子	-図書	[うち	【書国枠	電子	ジャーナル		械・器具	標本	学部単位での特定不能の
						冊〔うち	【鲁国格		種	[5	ち外国書〕		点	点	ため、大学全体の数 図書等充実、データベー
	大学全体			57, 3 56, 7	09 (7, 218) 67 (7, 197) 34 (7, 105) 64 (6, 910)	- 0	(0)	1,716	(215) (215) (215) (236)		0 [0] 3 [1]	Ę	5, 902	58	スへの切り替えのため (5) 図書充実のため(6) 図書充実のため(7)
図書•	,	人子王14	.	57, 3 56, 7	09 [7, 218] 67 [7, 197] 34 [7, 105] 64 [6, 910]	0	(0)	1,716	(215) (255) (215) (236)		0 [0] 3 [1]	(5	5, 902)	(58)	
韻備		=1		57, 3 56, 7	09 (7, 218) 67 (7, 197) 34 (7, 105) 64 (6, 910)	- 0	(0)	1,716	(215) (215) (215) (236)		0 [0] 3 [1]	Ę	5, 902	58	
		計		57, 3 56, 7	09 (7, 218) 67 (7, 197) 34 (7, 105) 64 (6, 910)	- 0	(0)	1,716	(215) -(215) -(215) -(236)		0 [0] 3 [1]	({	5, 902)	(58)	
(5)	フポ	ーツ施設	华		スポー	ツ施設		請	堂			厚生補導	拿施設	•	
	^/\\`	حاقالا ح	Þ			2, 286	m²		158	. 99 m²				0 m ²	
		経費 —	Σ	ζ	分	開設年度	完成年月	隻 区	分	開設前	前年度	開設年度	完成	年度	
(6) 奴弗 <i>(</i> 7)			(員 1	人当り	研究費等	480千円	480=	千円 図書	書購入費	1, 1	00千円	1,000千	円 1,0	000千円	
積り及	傾り及び				1,000千円	1,000=	千円 設備	#購入費 ■	2, 5	00千円	2,500千		500千円		
		学生1人 納付会			1年次	第2年次		3年次	第4年		第5年		第6年		
	-				1,290千円	1, 140		1,140千円		140千円		- 千円		- 千円	
		学生納	付金	以外の	維持方法の	概要 私立大	:字等経常費	養補助金、 万	、学検定料、	、雑収入	等				

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。 (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び 「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。

なお、昨年度の報告において<mark>赤字で見え消し</mark>した部分については、<u>見え消しのまま黒字にしてください</u>。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 高等専門学校については「(3) 教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
- ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	兵 庫	大 学										収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数 2 収容定員充足 率1.16億以上 の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)		定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	-	倍	年度	年度		
<u>現代ビジネス学部</u>	4	120	3 年次 2	484	-	0. 90	_		-	平成28	加古川市平岡町新在家2301	
現代ビジネス学科	4	120	3 年次 2	484	学士	0. 90	_		令和4	平成28	同上	令和4年度入学生より入学定員変更(100→120)
健康科学部	4	120	3 年次 5	490	-	0. 63	_		-	平成13	同上	
栄養マネジメント学科	4	80	3年次 5	330	学士	0. 53	_		-	平成13	同上	
健康システム学科	4	40	0	160	学士(健康科学)	0. 83	_		-	平成13	同上	
<u>教育学部</u>	4	100	3 年次 5	305	-	0. 63	_		-	令和5	同上	
<u>教育学科</u>	4	100	3 年次 5	305	学士	0. 63	_		令和5	令和5	同上	令和5年度開設
看護学部	4	90	0	360	-	1. 13	1. 12		-	平成29	同上	
看護学科	4	90	0	360	学士	1. 13	1. 12		-	平成29	同上	
生涯福祉学部	4	40	3年次 5	220	-	0.86	_		-	平成18	同上	
社会福祉学科	4	40	3 年次 5	170	学士	0. 88	_		令和5	平成18	同上	令和5年度から3年次編入学定員変更 (0→5)
こども福祉学科	4	0	0	50	学士 (こども福祉)	0. 80	_		-	平成25	同上	令和4年度学生募集停止
大学全体	4	470	3 年次 17	1859	_	0. 82	_		_	-	同上	

大学の名称	兵 庫	大 学	短 期	大 学	部							収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	1	収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)		定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設年度	所在地		備	考	
	年	人	年次	人		倍	1	倍	年度	年度					
			人									令和5年度入 令和7年度入			
保育科第一部	2	50	-	130	短期大学士 (保育)	0. 43	_		-	昭和32	兵庫県加古川市平岡町新在家2301	11117-1007	1 1 0 7 7 1	ZRZZ (00	007
保育科第三部	3	80	-	240	短期大学士 (保育)	1. 11	1. 10		-	昭和46	同上				
短大全体	2	50	_	370		0, 87	_		_		同上				
应入主 体	3	80	_	370		0.07			_		HТ				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)
 - なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 - ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、 「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - %「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

- ・本年度 A Cの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
- 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1)一① 担当教員表

	_	担当教員表 は届出時】	【令和	05年	♥]	ζ.	含和6年	:度】	r	介 和	ロフ年月	♥ 】
専任・	3 - 7 / 2 (1		専任・	10 17	1	専任		1	教		1 / 1 /	
兼任の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担兼任の別	•	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	区:		職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		關 浩和			關 浩和		İ	關 浩和				關 浩和
		< 令和 5 年 4 月 > 博士 (学校教育学) クラスゼミナール I 卒業研究 I			< 令和5年4月> 博士 (学校教育学) クラスゼミナール I 卒業研究 I			< 令和5年4月> 博士 (学校教育学) クラスゼミナール I 卒業研究 I				< 令和5年4月> 博士 (学校教育学) クラスゼミナール L 卒業研究 1
専		卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論	車	教授	卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論	Ę	1 数据	卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論	1	土	教授	<u>卒業研究Ⅱ</u> 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 初等社会科内容論
	教授	初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップ I 情報活用の実践 I			初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップ I 情報活用の実践 I			初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップ I 情報活用の実践 I 情報活用の実践 I (デジタル教科書の活用を含む)	*)		初等生活科内容論 初等社会科教育法 初等生活科教育法 インターンシップ I 情報活用の実践 I 情報活用の実践 I (デジタル教科書の活用を含む)
		教育課程論			教育課程論			教育課程論				<u>教育課程論</u>
専	教授	松田 信樹 〈令和5年4月〉 修士(教育学)※ クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画作成演習 インター辺・フェー 発達心理学 赤井 利行	専	教授	松田 信樹 〈令和5年4月〉 修士(教育学)※ クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 幼児理解 青年心理学 個別教育計画作成演習 イン育心・理学 赤井 利行	nu T	教授 教授	松田 信樹 〈令和5年4月〉 修士(教育学)※ クラスゼミナールI 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 本	***************************************	*主)	教授	松田 信樹 〈令和5年4月〉 修士 (教育学)※ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 本業研究 I 本業研究 I 本 2 本 2 本 3 日本 2 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3 日本 3
専	教授	< 令和 5 年 4 月 > 修士 (教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I	專	教授	< 令和5年4月> 修士(教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 初等算数科内容論 初等算数科内容論 初等算数科内容論 初等算数科内容論 打ち用の実践 I	ser	教授 教授	〈令和5年4月〉 修士(教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 本業研究 II 有等算数科内容論 初等算数科教育法 インターンシップ I 情報活用の実践 I 後職入門	**************************************	**主)	教授	《令和5年4月》 修士(教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 初等算数科内容論 初等算数科内容論 初等算数科数育法 インターンシップⅠ 情報活用の実践Ⅰ
専	教授	大江 実代子 《令和5年4月》 修士(学校教育学) クラスゼミナールIV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 存著 (学校教育学) クラスゼミナール IV 存集 (学校教育学) クラスゼミナール IV 存集 (学校) 「特別活動論者を表現した。」 「特別活動語を表現した。」 「特別語を表現した。」 「特別活動語を表現した。」 「特	専	教授	大江 実代子 《令和5年4月》 修士 (学校教育学) クラスゼミナールIV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 部 等国話科教育法 あれか育事 あい 体ンシップ I 情報活動 情報活動 教職実践演習 (小学校)	per	1 教授	大江 実代子 《令和5年4月》 修士(学校教育学) クラスゼミナールI クラスゼミナールI クラスでミナールI クラスで究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 部 卒業等 国語語科 教育 法 ふれあい 本 の 会論 初等 由 の 実践 I 情報活用の 実践 I	# (# # # # # # # # # # # # # # # # # #	一事事		大江 実代子 《令和5年4月》 修士(学校教育学) クラスゼミナールI 卒業研究I 卒業研究I 卒業研究IV 初等国語科内容論 初等国語科教育法 ふれあい体験活動 インターンシップI 情報活用の実践I

専任・		氏 名	専任・		氏 名	1	専任・		氏 名		教員		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	に 名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		橋本 正巳			橋本 正巳				橋本 正巳	ľ			橋本 正巳
		<令和5年4月> 学士(教育学)			<令和5年4月> 学士(教育学)				<令和5年4月> 学士(教育学)				<令和5年4月> 学士(教育学)
		クラスゼミナール II			クラスゼミナール II				12 (3/81)				1 - (3/13/7
		卒業研究 I			卒業研究 I				クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I				<u>クラスゼミナールⅢ</u> 卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ				<u>卒業研究Ⅱ</u> 卒業研究Ⅲ
1		卒業研究Ⅳ			卒業研究Ⅳ				卒業研究Ⅳ		*		卒業研究Ⅳ
専	教授	特別支援教育実習	専	教授	特別支援教育実習		専	教授	特別支援教育実習		事)	教授	特別支援教育実習
		特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論			特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論				特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論				特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育総論
		付別又拨牧目祕調			付別又拨牧目祕跚				知的障害児の教育課程と指導法				知的障害児の教育課程と指導法
		肢体不自由児の教育課程と指導法			肢体不自由児の教育課程と指導法				肢体不自由児の教育課程と指導法				肢体不自由児の教育課程と指導法
		肢体不自由教育総論			肢体不自由教育総論				知的障害教育総論 肢体不自由教育総論				知的障害教育総論 肢体不自由教育総論
		重複・発達障害教育総論			重複・発達障害教育総論				重複・発達障害教育総論				重複・発達障害教育総論
		·707 ±	-		·				·				·
		河野 真			河野 真 <令和5年4月>				河野 真				河野 真 <令和5年4月>
専	教授	Ph. D. (英国)	専	教授	Ph. D. (英国)		専	教授	Ph. D. (英国)		その 他	教授	Ph. D. (英国)
		社会福祉			社会福祉				社会福祉				社会福祉
		林 敦司			林 敦司				林 敦司	ı			林 敦司
		<令和5年4月> 修士(教育学)			<令和5年4月> 修士(教育学)				<令和5年4月> 修士(教育学)				<令和5年4月> 修士(教育学)
		クラスゼミナール I			クラスゼミナール I								
		卒業研究 I			卒業研究 I				卒業研究 I				<u>クラスゼミナール™</u> 卒業研究 I
		卒業研究Ⅱ			卒業研究Ⅱ				卒業研究Ⅱ				卒業研究Ⅱ
専	教授	卒業研究Ⅲ	専	教授	卒業研究Ⅲ		専	教授	卒業研究Ⅲ		基(主	教授	卒業研究Ⅲ
		卒業研究Ⅳ インターンシップ I			卒業研究Ⅳ インターンシップⅠ				卒業研究Ⅳ インターンシップI		專)		卒業研究Ⅳ インターンシップ I
									教職入門				
		道徳教育論 総合的な学習の理論と実践			道徳教育論総合的な学習の理論と実践				道徳教育論 総合的な学習の理論と実践				道徳教育論 総合的な学習の理論と実践
		特別活動論			特別活動論				特別活動論				特別活動論
									教職実践演習				数職実践演習
		半田 結			半田 結				半田結	ŀ			半田 結
		<令和5年4月> 修士(芸術学)※			<令和5年4月> 修士(芸術学)※				<令和5年4月> 修士(芸術学)※				<令和5年4月> 修士(芸術学)※
									クラスゼミナールΙΙ				<u>クラスゼミナールⅡ</u>
		クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I			クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I				卒業研究 I				卒業研究 I
		卒業研究Ⅱ			卒業研究Ⅱ				卒業研究Ⅱ				卒業研究Ⅱ
		卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ
車	教授	卒業研究Ⅳ こどもと表現	専	教授	卒業研究Ⅳ こどもと表現		専	教授	卒業研究Ⅳ こどもと表現		基(主	教授	卒業研究Ⅳ <u>こどもと表現</u>
	27.12	保育内容「表現」の指導法	,	27.12	保育内容「表現」の指導法		,	20.22	保育内容「表現」の指導法		(#	27.12	保育内容「表現」の指導法
		総合表現教育 I 総合表現教育 Ⅱ			総合表現教育 I				総合表現教育 I				総合表現教育 I 総合表現教育 II
		初等図画工作科内容論			総合表現教育 II 初等図画工作科内容論				総合表現教育 II 初等図画工作科内容論				初等図画工作科内容論
		初等図画工作科教育法			初等図画工作科教育法				初等図画工作科教育法				<u>初等図画工作科教育法</u>
		インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ			インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ				インターンシップⅡ 情報活用の実践Ⅱ				<u>インターンシップⅡ</u> 情報活用の実践Ⅱ
		(デジタル教科書の活用を含む)			(デジタル教科書の活用を含む)				(デジタル教科書の活用を含む)				1月報心用の失成 II (デジタル教科書の活用を含む)
		古田 薫			古田薫								
		□田 黒 <令和5年4月>			□田 黒 <令和5年4月>								
		修士(教育学)※			修士(教育学)※								
		クラスゼミナールIV 卒業研究 I			クラスゼミナールIV 卒業研究 I								
専	教授	卒業研究Ⅱ	専	教授	卒業研究Ⅱ								
'		卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ	,,		卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ								
		午来研光IV インターンシップⅡ			年来研先IV インターンシップⅡ								
		教職入門			教職入門								
		教育制度論			教育制度論								
Ь		L	Ь	ı	l	j i		l .	<u> </u>	Į			1

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	田邉 哲雄 《令和5年4月》 修士(臨床教育学) クラスゼミナール I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 存業 研究 I による福祉 とも福祉 保育実習指導 I (施設) 保育実習 I (施設) 保育実習 I (施設)	專	教授	田邉 哲雄	専	教授	田邉 哲雄 《令和5年4月》 修士(臨床教育学) クラスゼミナール I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業 研究 I 卒業 研究 I 卒業 明 「 (施設) 保育実習 I (施設) 保育実習 I (施設) 保育実習 I (に)	善 (主 事)	教授	田邉 哲雄
						*	教授	世平 康弘 《令和6年4月》 博士 (言語学) 英語学概論 英語音声学 国際英語論 英語学演習 英語学演習 英語学技術音楽習 高等学校教育実習 中学校・高等学校教育実習	(主事)	教授	世平 康弘 〈令和6年4月〉 博士 (言語学) クラスゼミナール皿 実用英語 I 英語学振論 英語音声学 国際英語論 英語文法論 英語学演論 英語学技教育実習 本学技教育実習 中学技教育実習
						*	教授	高畑 芳美 〈令和6年4月〉 博士(学校教育学) クラスゼミナールIV こどもと環境 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法	基 (主 事)	教授	高畑 芳美 《令和6年4月》 博士(学校教育学) クラスゼミナールⅣ 卒業研究工 卒業研究工 卒業研究 平業研究 でよりでは、「大田関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 子育て支援地域活動工
						*	教授	保坂 芳男 《令和6年4月》 博士(教育学) 実用英語 I 異文化コミュニケーション 異文化で流流習 英語圏地域研究 英語列教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I 英語科教育 方法 I	盖(主事)	教授	保坂 芳男 《令和6年4月》 博士(教育学) クラスゼミナールエ 実用英語 I 異文化フミュニケーション論 異文化交流連習 英語圏地域研究 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 英語科教育法 I 東京社会会 I 東京社会会 I 東京社会会 I 東京社会会 I 東京社会会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会 I 東京社会会 I

専任・	1		専任・	1		1	専任・	1		ſ	教員		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		安部 洋一郎			安部 洋一郎				安部 洋一郎	ľ			安部 洋一郎
		< 令和 5 年 4 月 > 博士 (学校教育学) クラスゼミナール II 卒業研究 I			〈令和5年4月〉 博士 (学校教育学) クラスゼミナールⅡ 卒業研究 I				< 令和5年4月> 博士 (学校教育学) クラスゼミナールⅡ 卒業研究 I				< 令和 5 年 4 月 > 博士 (学校教育学) クラスゼミナール II 卒業研究 I
		卒業研究Ⅱ			卒業研究Ⅱ				卒業研究Ⅱ				<u> </u>
		卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ
		卒業研究Ⅳ			卒業研究Ⅳ				卒業研究Ⅳ				卒業研究Ⅳ
専	准教授	こどもとサイエンス	専	准教授	こどもとサイエンス		専	准教授	こどもとサイエンス		主	准教授	こどもとサイエンス
		(こどもと科学遊び)			(こどもと科学遊び)				(こどもと科学遊び)		專)		_(こどもと科学遊び)
		初等理科内容論			初等理科内容論				初等理科内容論				初等理科内容論
		初等理科教育法			初等理科教育法				初等理科教育法				<u>初等理科教育法</u>
		情報活用の実践I			情報活用の実践Ⅰ				情報活用の実践 I				<u>情報活用の実践 I</u>
		総合的な学習の理論と実践			総合的な学習の理論と実践								
		1 244 1 ± 47 ± ± 27			1 W 11 W + + + 22				教職入門				
		小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション			小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション				小学校教育実習 小学校教育実習リフレクション				<u>小学校教育実習</u> 小学校教育実習リフレクション
		石川 恵美			小子校教育美育リフレッション 石川 恵美				石川 恵美	ŀ			石川 恵美
		<令和5年4月> 修士(学校教育学)			<令和5年4月> 修士(学校教育学)				< 令和 5 年 4 月 > 修士(学校教育学)				<令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナール I			クラスゼミナール I				クラスゼミナール I				クラスゼミナールI
		卒業研究 I			卒業研究 I				卒業研究 I				卒業研究Ⅰ
		卒業研究Ⅱ			卒業研究 Ⅱ				卒業研究Ⅱ				卒業研究Ⅱ
		卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ
		卒業研究Ⅳ			卒業研究Ⅳ				卒業研究Ⅳ				卒業研究Ⅳ
_		こどもと言葉	1 +		こどもと言葉		_		こどもと言葉		¥.	44, 100	こどもと言葉
専	准教授	保育内容「言葉」の指導法	専	准教授	保育内容「言葉」の指導法		専	准教授	保育内容「言葉」の指導法		(主 事)	教授	保育内容「言葉」の指導法
									乳児保育 I 乳児保育 Ⅱ				乳児保育 I 乳児保育 Ⅱ
									れた味 日 1 ふれあい体験活動				- れた味育 1
									Salvage Handlan				保育実習指導 I (保育所)
													保育実習I(保育所)
		保育実習指導 I (施設)			保育実習指導 I (施設)				保育実習指導 I (施設)				
		保育実習I(施設)			保育実習I(施設)				保育実習 I (施設)				
		保育実習指導Ⅲ			保育実習指導Ⅲ				保育実習指導Ⅲ				
		保育実習Ⅲ			保育実習皿				保育実習Ⅲ				
		磯野 久美子			磯野 久美子				磯野 久美子				磯野 久美子
		<令和5年4月> 修士(学校教育学)			<令和5年4月> 修士(学校教育学)				< 令和 5 年 4 月 > 修士(学校教育学)				<令和5年4月> 修士(学校教育学)
		クラスゼミナールⅢ			クラスゼミナールⅢ				クラスゼミナールⅢ				<u>クラスゼミナールⅢ</u>
		卒業研究 I			卒業研究I				卒業研究 I				<u>卒業研究 I</u>
		卒業研究Ⅱ			卒業研究Ⅱ				卒業研究 Ⅱ				卒業研究Ⅱ
		卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ
専	准教授	卒業研究Ⅳ	専	准教授	卒業研究Ⅳ		専	准教授	卒業研究Ⅳ		主	准教授	卒業研究Ⅳ
		こどもと人間関係 教師・保育者論			こどもと人間関係 教師・保育者論				こどもと人間関係		專)		<u>こどもと人間関係</u> 教師・保育者論
		教師・休月白細			教師・休月石調				教師・保育者論 ふれあい体験活動				<u> </u>
									SHOOT HARRIES				子育で支援地域活動Ⅰ
													子育で支援地域活動Ⅱ
		保育・教職実践演習			保育・教職実践演習				保育・教職実践演習				保育・教職実践演習
		幼稚園教育実習			幼稚園教育実習				幼稚園教育実習				<u>幼稚園教育実習</u>
		幼稚園教育実習リフレクション			幼稚園教育実習リフレクション				幼稚園教育実習リフレクション				<u>幼稚園教育実習リフレクション</u>
		井上 朋子			井上 朋子				井上 朋子				井上 朋子
		<令和5年4月> 株士(併位教育院)			<令和5年4月>				<令和5年4月> 株士(党技教会党)				<令和5年4月>
		博士 (学校教育学) クラスゼミナールⅢ			博士(学校教育学) クラスゼミナールⅢ				博士(学校教育学) クラスゼミナールⅢ				博士(学校教育学)
		クラスセミナール 単卒業研究 [クラスセミアール皿 卒業研究 I				クラスセミアール山 卒業研究 I				
		卒業研究Ⅱ			卒業研究Ⅱ				卒業研究 Ⅱ				
		卒業研究Ⅲ			卒業研究Ⅲ				卒業研究Ⅲ				
		卒業研究IV			卒業研究Ⅳ				卒業研究Ⅳ				
+	44 41L 1-			- June 1 mm			#	44. Jun	保育内容「表現」の指導法		ZAM	44.100	保育内容「表現」の指導法
専	准教授	音楽I	専	教授	音楽 I		専	教授	音楽I		その他	教授	音楽I
		音楽Ⅱ			音楽Ⅱ				音楽Ⅱ				音楽Ⅱ
		総合表現教育I			総合表現教育 I				総合表現教育I				<u>総合表現教育 I</u>
		総合表現教育Ⅱ			総合表現教育Ⅱ				総合表現教育Ⅱ				<u>総合表現教育Ⅱ</u>
		初等音楽家内容論			初等音楽家内容論				初等音楽家内容論				初等音楽家内容論
		初等音楽家教育法			初等音楽家教育法				初等音楽家教育法				<u>初等音楽家教育法</u>
		インターンシップI 情報活用の実践Ⅱ			インターンシップ I 情報活用の実践 II				インターンシップ I 情報活用の実践 II				<u>情報活用の実践Ⅱ</u>
		情報活用の美銭Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)			育報店用の美銭 (デジタル教科書の活用を含む)				情報活用の美銭Ⅱ (デジタル教科書の活用を含む)				育報活用の美銭 (デジタル教科書の活用を含む)
Щ	<u> </u>	、, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>	<u> </u>	、,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			<u> </u>	、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	L			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等		教員 区分	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	L			担当授業科目名
専	准教授	河野 稔	専	准教授	河野 稔 <令和5年4月> 修士(理学) コンピュータ演習 クラスゼミナールIV 卒業研究I 卒業研究I 卒業研究I 卒業研究IV インターンシップI 情報社活用の実践I 情報活用の実践I (デジタル教科書の活用を含む) 教育方法・技術論 教育におけるICT活用の理論と方法	專	准教授	河野 稔 〈令和5年4月〉 修士(理学) コンピュータ演習 クラスゼミナール I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 存業 対策の I 有機 社 日 の実践 I 情報 活用の実践 I (デジタル教科書の活用を含む) 教育方法・はCI活用の理論と方法		差 (主 (主	准教授	河野 稔
専	准教授	澤田 真弓 《令和5年4月〉 修士(学校教育学)※ クラスゼミナール II 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業 研究 II 卒業 研究 II 存育 原理 接地域域活動 I 子保育 実習 指導 I(保育所) 保育実習 I 保育実習 I 保育実習 I	専	准教授	澤田 真弓 《令和5年4月》 修士(学校教育学)※ クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 子卒業研究Ⅱ 子育原理 子育育で支援地域活動Ⅱ 子保育実習指導耳(保育所) 保保育実習指導Ⅱ 保保育実習指導Ⅱ	專	准教授	澤田 真弓 《令和5年4月〉 修士(学校教育学)※ クラスゼミナールⅡ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育育原理 を選手を保育の課程と評価 保子育す変援地域域活動Ⅱ 子保育実習指導Ⅱ 保保育実習Ⅱ 保保育実習Ⅱ		争审	教授	澤田 真弓 《令和5年4月》 修士(学校教育学)※ クラスゼミナールⅡ <u>卒業研究Ⅰ</u> <u>卒業研究Ⅱ</u> 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ 教育・保育の課程と評価 保育原理 子育て支援地域活動Ⅱ 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅱ
専	准教授	杉田 律子 《令和5年4月> 修士(教育学)※ クラスゼミナールIV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 特別支援教育 I 特別支援教育 実習 特別支援教育実習リフレクション 特別支援教育育総論 聴覚障害教育障害教育 聴覚障・発達強	専	准教授	杉田 律子 《令和5年4月》 修生(教育学)※ クラスゼミナールIV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 中別支援教育 I 特別支援教育 「 特別支援教育 実習 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育 実習 特別支援教育 育総論 聴覚 接教育 発総論 聴覚 ・発達法	専	准教授	杉田 律子 《令和5年4月> 修士(教育学)※ クラスゼミナールIV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 特別支援教育 百 I 特別支援教育 育の基礎 特別支援教育 育の基礎 特別支援教育 実習 リフレクション 特別支援教育 言総論 聴覚障害教育総論		等 p₩	准教授	杉田 律子 《令和5年4月》 修士(教育学)※ クラスゼミナールIV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 特別支援教育 I 特別支援教育 I 特別支援教育 変数 音別支援教育実習 特別支援教育実習 対別支援教育実習 対別支援教育と 対別支援教育と 対別支援教育と 対別支援教育を 対別支援教育を 対別支援教育を 対別支援教育を 対別支援教育を 対別支援教育を 対別支援教育を 対別支援教育総論 聴覚障害教育総論
専	准教授	立本 千寿子	専	准教授	立本 干寿子	專	教授	立本 千寿子 《令和5年4月》 (博士 (学校教育学) クラスゼミナール II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業		善(主事)	教授	立本 千寿子

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専業	担 · 任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	教員区分		職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
							*	准教授	岡田 広示 《令和6年9月》 教職体士(専門職)(学校教育学) クラスゼミナール 卒業研究工 卒業研究工 卒業研究取 インターンシップエ 教職入門 教育制度論 生徒指導・道路・キャリア 教育相談	()	美主)	准教授	岡田 広示 < 令和6年9月> 教職修士(専門職)(学校 素育学) クラスゼミナールⅣ 卒皇研究エ 卒皇研究エ 卒業研究エ 卒業研究取 インターンシップエ 教職入門 教育制度論 生性指導・進路・キャリア 教育の理論及び方法 教育相談
専	講師	平田 真二 《令和5年4月》 修士(学校教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 科別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育総論 知的障害児の教育課程と指導法 財的障害児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論	専	講師	平田 真二 《令和5年4月》 修士(学校教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 中華 表示		専	講師	平田 真二 《令和5年4月》 修士(学校教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 発達障害児への支援 教職入門 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育実習り論 知的障害児の教育課程と指導法 知的障害児の教育課程と指導法 知的障害教育総論 重複・発達障害教育総論	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	======================================	講師	平田 真二 《令和5年4月》 修生(学校教育学) クラスゼミナールⅢ 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II を業研究 II を業研究 II を業研究 II を対象
專	講師	藤野 正和 <令和5年4月> 修士(文学)※ クラスゼミナール I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 本業研究 II 教育相談 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育のの心理・生理・病理 財体・発達障害教育総論 心理検査法	專	講師	藤野 正和 <令和5年4月> 修士(文学)※ クラスゼミナール I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 卒業研究 II 教育相談 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育 育総論 知的障害児の心理 ・生理・病理 病弱児の心理 ・生理・病理 病弱児の心理 ・生理・病理 直視・発達障害教育総論 心理検査法		専	准板授	藤野 正和 〈令和5年4月〉 修士(文学)※ クラスゼミナールW 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 I 存業研究 I 存業研究 I 存業研究 I 存業研究 I 中華 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	道。	**主)		藤野 正和 < 令和5年4月> 修士(文学)※ クラスゼミナールV 卒業研究 I 卒業研究 I 卒業研究 II 卒業研究 II 本業研究 IV インターンシップ II 特別支援教育実習 特別支援教育実習 特別支援教育総論 知的障害児の心理・生理・病理 重複・発達障害教育総論 心理検査法
兼担	教授	石原 敬子 <令和5年4月> 博士(経済学) 経済学	兼担	教授	石原 敬子 <令和5年4月> 博士(経済学) 経済学	兼	뺮担	教授	石原 敬子 <令和5年4月> 博士(経済学) 経済学	₹ ft		教授	石原 敬子 <令和5年4月> 博士(経済学) 経済学
兼担	教授	伊藤 秀樹 < 令和5年4月> 修士 (福祉マネジメント) スクールソーシャルワーク論	兼担	教授	伊藤 秀樹 〈令和5年4月〉 修士(福祉マネジメント) スクールソーシャルワーク論	兼	東担	教授	伊藤 秀樹 <令和5年4月> 修士(福祉マネジメント) スクールソーシャルワーク論	₹ ft	o L	教授	伊藤 秀樹 <令和5年4月> 修士(福祉マネジメント) スクールソーシャルワーク論
兼担	教授	稲富 恭	兼担	教授	稲富 恭 <令和5年4月> 工学修士 コンピュータグラフィックスの基礎 色彩とデザイン 建築デザインと地域 入門ボランティア	芽	₹担	教授	稲富 恭	₹ ft	න ස		稲富 恭

その他	教授	担当授業科目名 北島 律之 〈令和5年4月〉 博士(芸術工学) 兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学 金子 哲 〈令和5年4月〉 修士(文学)※
他	教授	〈令和5年4月〉 博士(芸術工学) 兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学 金子 哲 〈令和5年4月〉
他	教授	博士 (芸術工学) 兵庫大学の学びと和 ファシリテーション入門 心理学 金子 哲 <令和5年4月>
その他		ファシリテーション入門 心理学 金子 哲 <令和5年4月>
その他		<令和5年4月>
その他		
その 他		地域と仏教
その他		歴史学
TEL	教授	地域文化論
		地域と文化財 地域資料を読む
		日本の伝統文化「将棋」を学ぶ
		ヒューマンサービスとマネジメント
		佐藤 隆
その	#4-120	<令和5年4月>
他	教授	生物学
		高野 敦子
その 他	教授	
		<u>コンピュータ演習</u> 教育データの利活用
		田端和彦
 ≠0		<令和5年4月>
他	教授	博士(学術) ファシリテーション入門
		宮崎 光世
その	教授	<令和5年4月> 理学学士
		ICT・データ活用入門
!		AI・データサイエンス活用論 吉原 惠子
		<令和5年4月>
他	教授	修士(教育社会学)※ 社会学
		教育社会学
		大植 崇
その他	講師	<令和5年4月> 博士(看護学) ヒューマンサービスとマネジメント
	1	岡本 洋之
		尚本 洋之 <令和5年4月>
- 70	准教	文学修士※
他	授	<u>教育の思想と原理</u> 教育 <u>史</u>
		<u>教育哲学</u> 教育哲学
┨┝		小倉 毅
その		<令和5年4月>
	教授	修士 (社会福祉学) ヒューマンサービスとマネジメント
他	1	
他	1	
他		斎藤 正寿
他	数揭	<令和5年4月> 文学修士※
他その他	教授	<令和5年4月> 文学修士※ 国際関係論
その他	教授	<令和5年4月> 文学修士※
その他	教授	<令和5年4月> 文学修士※ 国際関係論 ファシリテーション入門
その他		〈令和5年4月〉 文学修士※ 国際関係論 ファシリテーション入門 政治学 様本 つぐみ 〈令和5年4月〉
他	教授	〈令和5年4月〉 文学修士※ 国際関係論 ファシリテーション入門 政治学 様本 つぐみ 〈令和5年4月〉
	を	他 教授 その他 教授 その他 教授 その他 その他 教授 その他 その他 その他 その他 その他 その他 その他 その他

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	l	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分		氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 名 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		原志津			原 志津	Ī			原 志津			原 志津
兼担	准教授	<令和5年4月> 学術修士(臨床心理学)※	兼担	准教授	<令和5年4月> 学術修士(臨床心理学)※		兼担	准教授	<令和5年4月> 学術修士(臨床心理学)※	そ	D 准者	<令和5年4月> 対授 学術修士(臨床心理学)※
		社会的スキルトレーニングの理 論と実践			社会的スキルトレーニングの理論と実践				社会的スキルトレーニングの 理論と実践	TU	,	社会的スキルトレーニング の理論と実践
		穂積 隆広			穂積 隆広				穂積 隆広			穂積 隆広
		< 令和 5 年 4 月 > 博士(工学)			< 令和 5 年 4 月 > 博士(工学)				<令和5年4月> 博士(工学)			<令和5年4月> 博士(工学)
兼扫	准数捋	身のまわりの科学 プログラミング入門	兼担	教授	身のまわりの科学 プログラミング入門		兼担	教授	身のまわりの科学 プログラミング入門	7	D #	身のまわりの科学 プログラミング入門
N/IE	在扒区) =)) ()) ()	NA JE	95.130	ICT・データ活用入門		N/I	90.100	ICT・データ活用入門	ft	•	ICT・データ活用入門
		情報活用の実践 I 情報活用の実践 II			情報活用の実践 I 情報活用の実践 II							
		(デジタル教科書の活用を含む)			(デジタル教科書の活用を含む)							
		本多 彩			本多 彩	Ī			本多 彩			本多 彩
		<令和5年4月> 修士(文学)※			<令和5年4月> 修士(文学)※				<令和5年4月> 修士(文学)※			<令和5年4月> 修士(文学)※
		宗教と人生			宗教と人生				宗教と人生	_		宗教と人生
兼担	准教授	仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和	兼担	教授	仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和		兼担	教授	仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和	+ ft	教	慢 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和
		兵大京都学			兵大京都学				兵大京都学			兵大京都学
		比較文化論			比較文化論				比較文化論			比較文化論
-		湯瀬 晶文			湯瀬 晶文	ŀ			湯瀬 晶文			海外研修·国際交流 湯瀬 晶文
		<令和5年4月>			<令和5年4月>				<令和5年4月>			<令和5年4月>
* +D	*#L #L 170	博士 (情報科学) 地域と仏教	**+0	*## #F 120	博士 (情報科学)		** +0	*# #L 170	博士 (情報科学)	そ	D	博士 (情報科学)
兼担	准教授	地域と14教 兵大京都学	兼担	准教授	地域と仏教 兵大京都学		兼担	准教授	地域と仏教 兵大京都学	ft	准务	対 地域と仏教 兵大京都学
		身のまわりの科学			身のまわりの科学				身のまわりの科学			身のまわりの科学
-		入門ボランティア Micheal H. Fox			入門ボランティア	ŀ			入門ボランティア			入門ボランティア
		<令和5年4月>										
兼担	准教授	Master of Arts (米国)										
		英語 実用英語 I										
		森下 博			森下 博	Ī			森下 博			森下 博
兼担	准教授	<令和5年4月> 修士(理学)	兼担	准教授	<令和5年4月> 修士(理学)		兼担	准教授	<令和5年4月> 修士(理学)	7	D 數	< 令和 5 年 4 月 > 修士 (理学)
		学校教育におけるICT活用			学校教育におけるICT活用				学校教育におけるICT活用	10		学校教育におけるICT活用
		矢野 琢也			矢野 琢也	ŀ			矢野 琢也		+	
		<令和5年4月>			<令和5年4月>				<令和5年4月>			
兼担	准教授	博士(体育学) 健康・スポーツ科学 I (講義)	兼担	准教授	博士 (体育学) 健康・スポーツ科学 I (講義)		兼担	教授	博士(体育学)			
					PCT-104 S 1-11 3 T (NLT-1296)				manus active activity			
		Cuomo, Osaze Martin			Cuomo, Osaze Martin				Cuomo, Osaze Martin			Cuomo, Osaze Martin
		< 令和 5 年 4 月 > 修士(国際関係学)			< 令和 5 年 4 月 > 修士(国際関係学)				<令和5年4月> 修士(国際関係学)			<令和5年4月> 修士(国際関係学)
		英語			英語				英語			英語
					実用英語 I							実用英語皿
												実用英語Ⅳ
兼担	講師		兼担	准教授			専任	***	Academic Reading I Academic Reading II	3		Academic Reading I 大授 Academic Reading II
米坦	하하		NY TE	准银钗			⊕ π	/担钥(1)文	Academic Writing I	#		Academic Writing I
									Academic Writing II			Academic Writing I
									English Communication Skills I English Communication Skills II			English Communication Skills I English Communication Skills I
									Academic Presentation			Academic Presentation
									中学校教育実習			中学校教育実習
									高等学校教育実習 中学校・高等学校教育実習リフレクション			高等学校教育実習 中学技・高等学技術育実習リフレクション
		山崎 一諒			山崎 一諒	ļ						
兼担	講師	<令和5年4月> 博士(農学)	兼担	准教	<令和5年4月> 博士(農学)							
		食と健康		授	食と健康							
		三宅 一郎			三宅 一郎	ŀ						
兼任	教授	<令和 5 年 4 月> 体育学修士	兼任	教授	<令和5年4月> 体育学修士							
		健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)			健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)							
Щ				l		L				Щ		

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	•	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	教員 区分	職名	氏名 (年齡) (年齡) 《就任(予定)年月》 保有学位等
							兼担	教授	長尾 憲樹 〈令和6年4月〉 医学博士 健康・スポーツ科学 I	その他	教授	長尾 憲樹 〈令和6年4月〉 医学博士 健康・スポーツ科学I(欝鏡)
							兼担	講師	栗山 磯子 〈令和6年4月〉 博士(栄養学) 食と健康	その他	講師	栗山 磯子 <令和6年4月> 博士 (栄養学) 食と健康
										その他	教授	氏平 明 《令和7年4月》 博士(文学) 日本語初中級 I (實学生) 日本語初中級 I (實学生) 日本語中上級 I (實学生) 日本語中上級 I (實学生) 日本語上級 I (實学生) 日本語上級 I (實学生) 米野 吉剛
										その他	准教授	不可 日別 <令和7年4月> 修士(学校教育学) 入門ポランティア
										その他	講師	堀田 彰子 《令和7年4月》 博士 (開発学) 海外研修・国際交流
兼任	教授	日坂 歩都恵 < 会和5年4月> 修士(教育学)※ こどもと健康 保育内容総論 保育内容(健康」の指導法	兼	任	教授	日坂 歩都恵	兼任	教授	日坂 歩都恵 <令和5年4月> 修士(教育学)※ こどもと健康 保育内容総論 保育内容「健康」の指導法	その他	教授	日坂 歩都恵 <令和5年4月> 修士(教育学)※ こどもと健康 保育内容「健康」の指導法
兼任	准教授	藤原 照美 <令和5年4月> 修士(学校教育学) 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法	兼	任 准	 主教 授	藤原 照美 《令和5年4月》 修士(学校教育学) 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法						
兼任	講師	山村 けい子 <令和5年4月> 修士(学術) 保育内容「人間関係」の指導法	兼	任 油	主教授	山村 けい子 <令和5年4月> 修士(学術) 保育内容「人間関係」の指導法						
兼任	准教授	佐竹 邦子 <令和5年4月> 修士 (理学) コンピュータグラフィックスの基礎	兼	Œ (教授	佐竹 邦子 <令和5年4月> 修士(理学) コンピュータグラフィックスの基礎 数学基礎	兼任	教授	佐竹 邦子 <令和5年4月> 修士(理学) コンビュータグラフィックスの基礎 数学基礎	その他	教授	佐竹 邦子
兼任	准教授	永井 夕起子 <令和5年4月> 修士(文学)※ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育 I 総合表現教育 I	兼	任 准	 	永井 夕起子 <令和5年4月> 修士(文学)※ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育 I 総合表現教育 I	兼任	准教授	永井 夕起子 <令和5年4月> 修士(文学)※ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育 I 総合表現教育 I	その他	准教授	永井 夕起子 <令和5年4月> 修士(文学)※ こどもと表現 保育内容「表現」の指導法 総合表現教育Ⅰ 総合表現教育Ⅱ
兼任	講師	足立 法子 <令和5年4月> 修士(教育学)※ 子育て支援	兼	迁加	主教授	足立 法子 <令和5年4月> 修士(教育学)※ 子育て支援						
兼任	准教授	野田 直恵 <令和5年4月> 修士(文学)※ 日本語(読解と表現) 文学	兼	任権	 	野田 直恵 <令和5年4月> 修士(文学)※ 日本語(読解と表現) 文学	兼任	教授	野田 直恵 <令和5年4月> 修士 (文学) ※ 日本語 (読解と表現) 文学	その他	教授	野田 直恵 <令和5年4月> 修士 (文学) ※ <u>日本語 (読解と表現)</u> 文学
兼任	准教授	三浦 摩美 <令和5年4月> 修士 (文学) ※ 哲学	兼	任准		三浦 摩美 〈令和5年4月〉 修士(文学)※ 哲学	兼任	准教授	三浦 摩美 〈令和5年4月〉 修士(文学)※ 哲学	その他	准教授	三浦 摩美 <令和5年4月> 修士(文学)※ 哲学

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		相川 美和子			相川 美和子			相川 美和子			相川 美和子
-	5# 4T	<令和5年4月>	and the	3# AT	<令和5年4月>	***	5# AT	<令和5年4月>	その	****	<令和5年4月>
兼任	講師	修士(学校教育学) 初等家庭科内容論	兼任	講師	修士(学校教育学) 初等家庭科内容論	兼任	講師	修士(学校教育学) 初等家庭科内容論	他	講師	修士(学校教育学) 初等家庭科内容論
		初等家庭科教育法			初等家庭科教育法			初等家庭科教育法			初等家庭科教育法
		新井 肇			新井 肇			新井 肇			
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>			
兼任	講師	修士(学校教育学)※	兼任	講師	修士(学校教育学)※	兼任	講師	修士(学校教育学)※			
		生徒指導論			生徒指導・進路・キャリア教育 の理論及び方法			生徒指導・進路・キャリア 教育の理論及び方法			
								教育相談			
		稲葉(安藤) 小由紀			稲葉(安藤) 小由紀			稲葉(安藤) 小由紀			稲葉(安藤) 小由紀
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	その		<令和5年4月>
兼任	講師	修士(学校教育学)※ こども家庭支援の心理学	兼任	講師	修士(学校教育学)※ こども家庭支援の心理学	兼任	講師	修士(学校教育学)※ こども家庭支援の心理学	他	講師	修士(学校教育学)※ こども家庭支援の心理学
		ことの外庭又版の心理子			ことの外庭又扱の心理子			ことの外庭又版の心理子			ことの外庭又扱の心理子
		岩本 智依			岩本 智依			岩本 智依			岩本 智依
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	その		<令和5年4月>
兼任	講師	法学修士 人権の歴史	兼任	講師	法学修士 人権の歴史	兼任	講師	法学修士 人権の歴史	他	講師	法学修士 人権の歴史
		入権の歴史			入権の歴史			入権の歴史			人権の歴史
		大関 達也			大関 達也			大関 達也			
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>			
兼任	講師	博士 (教育学) 教育の思想と原理	兼任	講師	博士(教育学) 教育の思想と原理	兼任	講師	博士(教育学) 教育の思想と原理			
		教育が思る。原理教育哲学			教育の思想と原理教育哲学			教育が思ると原理教育哲学			
		重親 知左子			重親 知左子			重親 知左子			重親 知左子
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	7.0		<令和5年4月>
兼任	講師	修士(言語文化学)	兼任	講師	修士(言語文化学)	兼任	講師	修士 (言語文化学)	その 他	講師	修士 (言語文化学)
		国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)			国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)			国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)			国際理解と宗教Ⅱ (イスラム教)
		片岡 章彦			片岡 章彦						
		<令和5年4月>			<令和5年4月>						
兼任	講師	修士 (学校教育学)	兼任	講師	修士 (学校教育学)						
		こども家庭支援論			こども家庭支援論						
		高 秀美			高 秀美			高 秀美			高 秀美
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	1		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(学術)	兼任	講師	博士(学術)	兼任	講師	博士(学術)	その 他	講師	博士 (学術)
		韓国語(初級)韓国語(中級)			韓国語(初級)韓国語(中級)			韓国語(初級)韓国語(中級)			韓国語(初級) 韓国語(中級)
		阪上 弘彬			阪上 弘彬			阪上 弘彬			阪上 弘彬
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	1		<令和5年4月>
兼任	講師	博士(教育学)	兼任	講師	博士(教育学)	兼任	講師	博士 (教育学)	その他	講師	博士(教育学)
		防災とコミュニティ			防災とコミュニティ			防災とコミュニティ			防災とコミュニティ
		瀬戸山 悠			瀬戸山 悠			瀬戸山 悠	-		瀬戸山 悠
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>
兼任	講師	臨床心理修士(専門職)※	兼任	講師	臨床心理修士(専門職)※	兼任	講師	臨床心理修士(専門職)※	その	講師	臨床心理修士(専門職)※
		庁記旧の粉充細和した道 は			庁記旧の教育課和した道 は			肢体不自由児の心理・生理・病理	TE		肢体不自由児の心理・生理・病理
		病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論			病弱児の教育課程と指導法 病弱教育総論						
		高井 惠子			高井 惠子			高井 惠子			高井 惠子
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	その		<令和5年4月>
兼任	講師	修士 (学校教育学) こどもの食と栄養 I	兼任	講師	修士 (学校教育学) こどもの食と栄養 I	兼任	講師	修士 (学校教育学) こどもの食と栄養 I	他	講師	修士(学校教育学) こどもの食と栄養 I
		こどもの食と栄養Ⅱ			こどもの食と栄養Ⅱ			こどもの食と栄養Ⅱ			こどもの食と栄養Ⅱ
		田邊 実香			田邊 実香			=			
		<令和5年4月>			<令和5年4月>						
兼任	講師	修士(臨床教育学)	兼任	講師	修士(臨床教育学)						
		乳児保育 I 乳児保育 I			乳児保育 I 乳児保育 II						
		筒井 茂喜			筒井 茂喜			筒井 茂喜			筒井 茂喜
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>
兼任	講師	博士 (学校教育学)	兼任	講師	博士 (学校教育学)	兼任	講師	博士 (学校教育学)	他	講師	博士 (学校教育学)
		初等体育科内容論			初等体育科内容論			初等体育科内容論			初等体育科内容論
		初等体育科教育法 佟 暁寧			初等体育科教育法 佟 暁寧			初等体育科教育法 佟 暁寧	-		初等体育科教育法 佟 暁寧
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	2.0		<令和5年4月>
兼任	講師	博士 (学校教育学)	兼任	講師	博士 (学校教育学)	兼任	講師	博士 (学校教育学)	他	講師	博士 (学校教育学)
		中国語(初級)中国語(中級)			中国語(初級) 中国語(中級)			中国語(初級)			中国語 (初級) 中国語 (中級)
		丁凶 品(丁 椒)			丁巴印(甲 椒)	Ь	1	丁凶印(学秋)	<u> </u>	<u> </u>	十四和(甲砜)

	1		事だ。			声/パー			#h E		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		豊福 一			豊福 一						
兼任	講師	< 令和5年4月> 学士(法学) 日本国憲法	兼任	講師	< 令和5年4月> 学士(法学) 日本国憲法						
		西村 美穂代			西村 美穂代			西村 美穂代			西村 美穂代
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	その		<令和5年4月>
兼任	講師	準学士 こどもの保健	兼任	講師	準学士 こどもの保健	兼任	講師	準学士 こどもの保健	他	講師	準学士 こどもの保健
		こどもの健康と安全			こどもの健康と安全			こどもの健康と安全			こどもの健康と安全
		野世(松林) 英水			野世(松林) 英水			野世(松林) 英水			野世(松林) 英水
兼任	講師	<令和5年4月> 学士(文学) 国際理解と宗教I(キリスト教)	兼任	講師	<令和5年4月> 学士(文学) 国際理解と宗教I(キリスト教)	兼任	講師	<令和5年4月> 学士(文学) 国際理解と宗教I(キリスト教)	その他	講師	<令和5年4月> 学士(文学) 国際理解と宗教I(キリスト教)
		福畠 真治			福畠 真治	-		福畠 真治			福畠 真治
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>
兼任	講師	修士 (教育学)	兼任	講師	修士(教育学)	兼任	講師	修士 (教育学)	その他	講師	修士(教育学)
		学校組織マネジメント			学校組織マネジメント			学校組織マネジメント			<u>学校組織マネジメント</u>
		藤本 政則			藤本 政則			藤本 政則			藤本 政則
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	その		<令和5年4月>
兼任	講師	修士(社会福祉学) 社会的養護 II	兼任	講師	修士(社会福祉学) 社会的養護 II	兼任	講師	修士(社会福祉学) 社会的養護 II	他	講師	修士(社会福祉学) 社会的養護 II
		在云的後護 11			任云的後護 11			任芸的 後護 Ⅱ			位云的 後 護 II
兼任	講師	本多 真 《令和5年4月》 博士 (国際文化学) 生命倫理学									
			兼任	講師	井藤 美由紀 〈令和5年4月〉 博士 (人間・環境学) 生命倫理学	兼任	講師	井藤 美由紀 <令和5年4月> 博士(人間・環境学) 生命倫理学	その他	講師	井藤 美由紀 <令和5年4月> 博士(人間・環境学) 生命倫理学
		升井 洋至			升井 洋至			升井 洋至			升井 洋至
		<令和5年4月>			<令和5年4月>			<令和5年4月>	1		<令和5年4月>
兼任	講師	博士 (農学)	兼任	講師	博士 (農学)	兼任	講師	博士 (農学)	他	講師	博士(農学)
		化学			化学			化学			化学
		松盛 美紀子			松盛 美紀子						
		<令和5年4月>			<令和5年4月>						
兼任	講師	修士(アメリカ研究)※ 実用英語 II	兼任	講師	修士(アメリカ研究)※ 実用英語 II						
		X/13XIII 2			X/11XIII I						
		森 秀樹			森 秀樹						
兼任	講師	<令和5年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	<令和5年4月> 修士(文学)※						
N/ II		教育の思想と原理	NK ILL		15 - 12177 M						
		教育哲学			教育哲学						
1	1	牧田 衞活			牧田 衞活			牧田 衞活			牧田 衞活
								<令和5年4月>			<令和5年4月>
兼任	講師	< 令和 5 年 4 月 > 学士(経済学)	兼任	講師	<令和5年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	学士(経済学)	その	講師	マデ和5年4月2 学士 (経済学)
兼任	講師	<令和5年4月>	兼任	講師		兼任	講師		その他	講師	
兼任	講師	<令和5年4月> 学士(経済学) 私のためのキャリア設計	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計	兼任	講師	学士 (経済学)	他	講師	学士 (経済学)
兼任	講師	く令和5年4月> 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子	兼任	講師	学士 (経済学)	他	講師	学士 (経済学)
兼任	講師講師	<令和5年4月> 学士(経済学) 私のためのキャリア設計	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計	兼任	講師	学士 (経済学)	他	講師	学士 (経済学)
		<令和5年4月> 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 <令和5年4月>			学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 <令和5年4月>	兼任	講師	学士 (経済学)	他	講師	学士 (経済学)
		(令和5年4月) 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 (令和5年4月) 修士(教育学) こどもと環境			学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 〈令和5年4月〉 修士(教育学) こどもと環境	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計	他	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計
		<令和5年4月> 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 <令和5年4月> 修士(教育学) こどもと環境 足立 昌夫			学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 〈令和5年4月〉 修士(教育学) こどもと環境 足立 昌夫	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 足立 昌夫	その他	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 足立 昌夫
兼任	講師	(令和5年4月) 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 (令和5年4月) 修士(教育学) こどもと環境	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 〈令和5年4月〉 修士(教育学) こどもと環境			学士(経済学) 私のためのキャリア設計	他		学士(経済学) 私のためのキャリア設計
		<令和5年4月> 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 <令和5年4月> 修士(教育学) こどもと環境 足立 昌夫 <令和5年4月> 博士(医学) 知的障害児の心理・生理・病理			学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 《令和5年4月》 修士(教育学) こどもと環境 足立 昌夫 《令和5年4月》 博士(医学) 知的障害児の心理・生理・病理	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 足立 昌夫 <令和5年4月> 博士(医学) 知的障害児の心理・生理・病理	そ他	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 足立 昌夫 <令和5年4月> 博士(医学) 知的障害児の心理・生理・病理
兼任	講師	《令和5年4月》 学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 《令和5年4月》 修士(教育学) こどもと環境 足立 昌夫 《令和5年4月》 博士(医学)	兼任	講師	学士(経済学) 私のためのキャリア設計 森田 麗子 《令和5年4月》 修士(教育学) こどもと環境 足立 昌夫 《令和5年4月》 博士(医学)			学士(経済学) 私のためのキャリア設計 足立 昌夫 <令和5年4月> 博士(医学)	他		学士(経済学) 私のためのキャリア設計 足立 昌夫 <令和5年4月> 博士(医学)

### 100m 전	藤担・ 陳任 別別 氏 名 (年 齢) 《就任 (予定) 年月> 保有学位等 兼世・ 兼任 の別 職名 氏 名 (年 齢) 《就任 (予定) 年月> 保有学位等 大 任 (年 齢) 《就任 (予定) 年月> 保有学位等 一 数 担当授業科目名 本 世 担当授業科目名 世 担当授業科目名 担当授業科目名 担当授業科目名 担	(年 齢) E(予定)年月>
全日	笠谷 佳代 笠谷 佳代 笠谷 佳代	保有子位寺
本の		当授業科目名
## Part	〈会和6年4日〉 〈会和6年4日〉 /会和6年4日〉	
大中 元則		
中国	社会的養護 I 社会的養護 I	
## 1 (本内的)	大牛 英則 大牛 英則 大牛 英則	大牛 英則
## 20		
報告活用の実践日		
(マジタル会社等の出所され) 表対 不能性 (<u>科教育法</u>
#		
# 2 (1		§野 美由紀
新規及の心理・工理・新理		
大学の日本月 大学の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本		
全年日 24 日	下士 除息	正共 除具
## (ぐ会和8年4日>	
別意 第二	兼任 講師 修士(教育学) 兼任 講師 修士(教育学) 兼任 講師 修士(教育学) 機 講師 修	士 (教育学)
#任 回解 (全部)を4月ン 書任 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人門 (保育学) ※ 保護人間 (保育学) ※ 保育学) ※ 保護人間 (保育学) ※ 保護人間 (保育学) ※ 保護人間 (保育学) ※ 保育学) ※ 保護人間 (保育学) ※ 保育学) ※ 保育学 (保育学) ※ 保育		<u> </u>
### (別惣 淳二 別惣 淳二	別惣 淳二
# 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		
(Į.
#任 (集育学)	勝見 催二	勝見 健二
### 日本		
# 教育方法・技術論		
#在		
#在		野帯 一恵
##	< ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	和6年4月>
選称 職人		:(学校教育)
#在 調節 (今和6年4月)	実用英語工	
#任 調解 第上 (学校教育学) 日本国憲法	進谷 義人	進谷 義人
日本国憲法 日本国 日本国 日本国 日本国 日本国 日本国 日本国 日本国 日本国 日本国		
東任 講師 (本和 6 年 4 月 > 学士(体育学)		
東任 講師 マー・ マー・ で で で で で で で で で		
### ### #### ########################		
東任 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京		
#任 課師		
兼任 講師 修士 (心理学) 子育で支援 での 情師 修士 (心理学) 子育で支援 増田 第一 <令和6年4月 修士 (文学) 接師 英語文学報酬 英語文学作品研究 英語文学報酬 英語文学報酬 英語文学報酬 英語文学報酬 本任 講師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 读師 本任 表任 表任 表任 表任 表任 表任 表任		
子育て支援		
**		摄
### ### #### ########################		増田 純一
兼任 講師 英語文学報酬 英語文学権品研究 英語文学接触 英語文学接触 英語文学接触 本任 講師 英語文学接触 本任 講師 英語文学接触 本任 表任 表任 表任 表任 表任 表任 表任		和6年4月>
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田		FI (XF)
英語文学特論 英語文学特論 英語文学特論 英語文学特論 英語文学特論		ando SER
兼任 兼任 兼師 (令和6年4月) 後土(教育学) 病羽児の心理・生理・病理 西上 優子 (令和6年4月) 教育学修士 教育学修士 教育学修士 (教育学修士 教育学修士 教育学修士 (教育学 を) (教育学修士 教育学修士 (教育学修士 教育学修士 (教育学修士 教育学修士 (教育学修士 育学 (教育) (教育)		
兼任 兼任 兼師 (令和6年4月) 後土(教育学) 病羽児の心理・生理・病理 西上 優子 (令和6年4月) 教育学修士 教育学修士 教育学修士 (教育学修士 教育学修士 教育学修士 (教育学 を) (教育学修士 教育学修士 (教育学修士 教育学修士 (教育学修士 教育学修士 (教育学修士 育学 (教育) (教育)		- # # A
###	く会和6年4日〉 よの くき	
一		士(教育学)
兼任 講師 <令和6年4月> 教育学修士 教育学修士 教育学修士 教育学修士 病園児の教育課程と指導法 その 他 講師 (会和6年4月) 教育学修士 病園児の教育課程と		
兼任 兼任 兼師 教育学修士 教育学		
	兼任 兼任 兼領 教育学修士 その 兼領	教育学修士
,		
		-

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼日 の別	•	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									その 他	講師	秦 兆明 <令和7年4月> 学士(言語文学)
											日本語初級 I (留学生) 日本語初級 II (留学生)
											大山 理恵
									その他	講師	<令和7年4月> 修士(言語教育学)
											日本語初級 I (留学生) 日本語初級 I (留学生)
											上田 真種
									その他	講師	<令和7年4月> 学士(言語文化)
											日本語初中級 I (留学生)
						-					日本語初中級 II (留学生) 小寺 隆志
									その	講師	小守 隆志 <令和7年4月> 修士(学校教育学)
									他		健康・スポーツ科学I(講義)
											升井 裕子
									その他	講師	<令和7年4月> 修士(英文学)
											英語文学概論 英語文学作品研究
											宮城 新
									その他	講師	<令和7年4月> 学士(体育学)
											健康・スポーツ科学Ⅱ(実技)
											辻本 恭子
									その他	講師	<令和7年4月> 修士(文学)
									ies		日本語(読解と表現)

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、 改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

 - 改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)を含む。を黒字で記入してください、その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(4月日)を上段「学位」の下へ記入してください。

 - 教員かられている。 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュデ 授業科目名を記入してください。

【令和5年度】

```
・教育課程充実の理由により、令和5年4月に宮崎光世兼担教授就任。・教育内容充実の理由により、令和5年4月に別徳淳二兼任教授就任。・教育内容充実の理由により、令和5年4月に別徳淳二兼任教授が年年。・令和5年4月、小倉毅兼担准教授が兼担教授に昇任。・令和5年4月、斎藤正寿兼担准教授が兼担教授に昇任。・令和5年4月、禄藤佐広兼担准教授が兼担教授に昇任。・令和5年4月、禄藤佐広兼担准教授が兼担教授に昇任。・令和5年4月、本多彩兼担准教授が兼担教授に昇任。・令和5年4月、太四の、位388 Martin兼担講師が兼担権教授に昇任。・令和5年4月、山崎一諒兼担講師が兼担准教授に昇任。・令和5年4月、山崎一諒兼担講師が兼担准教授に昇任。・令和5年4月、本多真兼任講師の就任辞退に伴い、新たに井藤美由紀兼任講師が就任。
```

【令和6年度】

、教育内容充実の理由により、令和6年4月に高畑芳美専任教授採用。
・教育課程充実の理由により、令和6年4月に保坂芳男専任教授採用。
・教育課程充実の理由により、令和6年4月に従来、動産任教授就任。
・教育課程充実の理由により、令和6年4月に従来、動産任教授就任。
・教育課程充実の理由により、令和6年4月に近い師。Ozase Martin専任准教授就任。
・教育内容充実の理由により、「英語学概論」「英語音声学」「国際英語論」「英語文法論」「英語学演習」「英語学特論」を追加し、笹平康弘専任教授が担当。
・教育内容充実の理由により、「英語文学概論」「英語文学作品研究」「英語文学作品演習」「英語文学特論」を追加し、増田純一兼任講師が担当。
・教育内容充実の理由により、「英語文学概論」「英語文学作品研究」「英語文学作品演習」「英語教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」「英語科教育法Ⅱ」 ・教育内容充実の理由により、「異文化コミュニケーション論」「異文化交流演習」「英語圏地域研究」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「英語科教育法I」「基II」、「Academic Reading I」「Academic Writing I」「Academic Writing I」「Academic Writing I」「Finglish Communication Skills I」「Finglish Communication Skills I」「Academic Presentation」を追加し、Cuomo、Osaze Martin専任准教授を配置。
・令和6年4月、京正和専任港議師が専任科授に昇進。
・令和6年4月、女本千寿子専任准教授が専任教授に昇進。
・令和6年4月、韓本つぐみ兼担推教授に昇進。
・令和6年4月、財田直恵兼任准教授が兼任教授に昇進。

- 【令和7年度】
- (注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 認可で設置された学部等の基幹 (専任) 教員を変更する場合は、当該基幹 (専任) 教員が授業を開始する前に必ず「基幹 (専任) 教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。

原則としてAC教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。)

- ・ A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置10場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく 「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を 連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2) 一① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数 (α)	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数 ((α) の 4 分の 3 以上)
10	5	10
名	名	名

- (注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 - ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、 高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

			設置時の記	十画					現在	(報告時)	の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主事)」及び 「基(事)」の計) (A*)	助手 (A')			講師	助教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主事)」及び 「基(事)」の計) (B*)	助手 (B')
10	8	2	0	20	0	0	14	7	1	0	22	0	0
(10)	(8)	(2)	(0)	(20)	(0)	(0)				-		-	
		現在(報告	時)の完成	成年度時の特	犬況				現在(報告	時)の完成	(年度時の記	計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(車)」の計) (C°)	助手 (C')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計) (D")	助手 (D')
14	7	1	0	22	0	0	14	7	1	0	22	0	0
[4]	[△1]	[△1]	[0]	[2]	[0]	[0]	[4]	[△1]	[△1]	[0]	[2]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A")」欄には「-」を記入してください。
「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

- 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	3	3
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢 (特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。 なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位だらの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】					
現在(報告時)の完成年度時の状況(C)	- = -	22 =	110	1 0	0/6
設置時の計画(A)		20	- 110	, ·	/ 0
【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究	ごに従!	事する者】			
現在(報告時)の完成年度時の状況(C")	_	0 _	_		%
設置時の計画(A")		0	1	17	/0

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	_	3	- 1	13.63	0,4
現在(報告時)の状況(B)	_	22	1	10.00] ^

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')	_	0	_	_	0%
設置時の計画(A')	_	0	_		/0

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) 一① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	基幹	(専任)	教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目	後	任補3	充状》	兄	勍	忙辞 退	【未	就任)の理	由	
																	該当	なし		
						合計	(D)							後	经任補充状況	の集計	(E))		
	京	た任 さ	を辞	退し	た教員	員数	担当科目	目数の合計	├ (a) +	+ (b) + (c)	①の台	計数	(a)		②の合計	b数(b))	③の合計	ł数(c)
							必	修	0	科目	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			^				選	択	0	科目	選択		0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0			人	自	由	0	科目	自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
							Ī	+	0	科目	計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	基幹 (専任)	教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
					必修	クラスゼミナールⅣ	1	
					必修	卒業研究 I	1	
					必修	卒業研究 Ⅱ	1	
1	教授	古田		R6. 3	必修	卒業研究Ⅲ	1	R6.3.12付け 死亡による退職 (6)
'	秋双	ДЩ	**	NO. S	必修	卒業研究Ⅳ	1	10.5.12月17 死亡による返職 (0)
					選択	インターンシップⅡ	1	
					必修	教職入門	1	
					必修	教育制度論	1	
					必修	クラスゼミナールII	1	
					必修	卒業研究 I	1	
					必修	卒業研究Ⅱ	1	
				必修 卒業研究皿 ①				
					必修	卒業研究Ⅳ	1	_
					選択	保育内容「表現」の指導法	2	•
_	dat. I um			D7 0	選択	音楽Ⅰ	2	
2	教授	井上	朋子	R7. 3	選択	音楽Ⅱ	2	R7.3.31付け 他大学への転出希望のため依顧退職(7)
					選択	総合表現教育I	2	
					選択	総合表現教育Ⅱ	2	
					選択	初等音楽家内容論	2	
					選択	初等音楽家教育法	2	
					選択	インターンシップ I 情報活用の実践 II	1	
					選択	情報活用の美蔵車 (デジタル教科書の活 用を含む)	2	

	合計	(F)	後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)			
		必修	12	科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	2 科目	選択	8 科目	選択	0	科目
2	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	14 科目	計	8 科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員**について、記入してください。
 - (学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
 - (3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)	後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)		
		必修	12	科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	10	科目	選択	2 科目	選択	8 科目	選択	0 科目
2	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22	科目	計	14 科目	計	8 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

1 人

- (注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。
 - (3) 一⑥ 定年により退職した基幹(専任)教員に対する後任補充状況

番	号 職 位 基幹 (専任) 教員氏名 必修・選択・自由の別 担当予定科目 後				後任補充	状況		辞任等の理由													
															該当なし						
							É	計							後任補充物	犬況の賃	集計				
		辞	任	した孝	负員数	Į		担当科目	数の合詞	it (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))					
								必修	§	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
			^					選択	5	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
	0		U 人		0 人		人	自由	3	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
								計		0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹 (専任) 教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

[令和6年5月報告]

古田薫教授の後任未定の科目については、令和6年度Ⅱ期までに担当者を配置する。Ⅰ期担当科目については、複数教員で担当するため、 授業運営及び学生の履修等に影響はない。

[令和7年5月報告]

古田薫教授の後任として、岡田広示准教授を令和6年9月1日付けで採用した。

井上朋子教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

「学生への周知方法」

学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

(注)・上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
認可時(令和4年)	該当なし				
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	定年規程に定める退職等年期を担えるいまでは、 を超えるいまでは、 を超えるいまでは、 を超れるのでは、 を対して、 を対して、 を対して、 を対して、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	【AC】 指摘善) (改善)	定年規則に定める退職年齢(年度末で67歳)の教員は、本研究科の完成年度 末をもって契約期間満了により退職した。「看護空職等人に動せた計画的ないて定義と関係を表し、令和3年度よりは数員採用計画を策定し、令和3年度より令和5年度に新たに3人を新規採用した(AC教員審査済)。引き続教育経験、研画に基づき、年齢構成、教育経験、研究領域のバランスを踏まえた採用人事を行っていく。(5)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容の充実等を通じ、収容の充実等をでは、収容があるでは、できまたでは、教育学部教育学部教育学科)	【AC】 指改善)	はる一のの作物を表示動性の表示を表示動性の変化を表示動性のでは、1.58を中であるした。 はる一のの作物を表示を表示した。 はなる一のでは、1.58を中であるした。 はなる一のでは、1.58を中であるした。 はなる一のでは、1.58を中であるした。 はなる一のでは、1.58を中であるした。 はなが、1.58を中であるとは、1.58を中であるとは、1.58を中であるとは、1.58を中であるとは、1.58を中では、1	履行中	昨の開い、年の大学的、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大

	兵庫大学の既設学科等の既設学科学学の既設学科学科学科学科学科の改善に対すること。	【AC】項)	昨年度の学生募集については、に、在積極学の学生募集については、に、在積極学の学生募集については、に、在積極学の書を会立した。 (校内・約4、250人、た授を生、約4、250人、た授を生、約4、250人、た授を生、約4、250人、た授を生、6枚を立くった授機ができる。 (機力を立て、6枚をするをは、18歳分の理解に強や地が見になり、18歳り、18歳り、18歳り、18歳り、18歳り、18歳り、18歳り、18歳	履行中	昨年の進学に大いた。 中の進学に大いた。 中の進学に大いた。 中の進学に大いた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中の4,500人、たた。 中で4度的にには、 大の接触は養性機会をで模擬にた。 を含われる学特触と進式が長いた。 中で4度的ににとと理解にないを 中で4度的ににといる 中で5年的には、 大の4度が表した。 中の4の上の4のでは、 大の4のでは、 大の4のでは、 大の4のでは、 大の4のでは、 大の5のでは、 大の5のでは、 大の5のでは、 大の5のでは、 大の60のでは、 大の7のの4度である。 中の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の60のでは、 大の7のの4度では、 大の7のより、 大の7のより、 大の60のでは、 大の7のより、 中で4を表すでは、 大の7のより、 中で4を表すで、 大の7のより、 中で4を表すでもには、 中で5のでは、 のが2を表すでは、 のが3のでは、 のが3のでは、 のが3のでは、 のが3のでは、 のが4のでは、 のが4のでは、 のが4のでは、 のが5のでは、 のが5のでは、 のが5のでは、 のが5のでは、 のが5のでは、 のが5のでもにでする。 ででもにでする。 ででもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	教育内容の充実等を通り、、に対し、、に対し、、に対し、、に対し、、に対し、、に対し、、に対し、、に対		昨年度の学生募集については、認知拡大会 教知拡大会 では、認知拡大会 に積極的に参加し、年間446件の進学相談会 (校内 約7,300人、低学年も含む)とる 接触機会をつくった。高・分野が (校生 (校内 (教内 (教内 (教生 (教内 (教内 (教内 (教内 (教内 (教内 (教内 (教内 (教内 (教内	履行中	今るに歌生の地域のは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな

兵庫大学の既設学科等 (健康科学部栄養マネ ジメント学科)の収容 定員未充足の改善に努 めること。 昨年度の学生募集については、年間446件の進学相談会(校内・会場)には積極的に参加し、高校生(約7,300人、たら高校生(約7,300人、たら高校守行われる進学科教員が積極的に参加したは学科教員が積極的に近れ19校716人と接触)した。分野別)には学科教員が積極的にされる進学科の教育内容の理解促進ややや知発信を援サイトを活用した発信に対した。 NSにおいてはInstagramに加加いた情報発信も実施した。 ものMS運動を活用した。 の他、大田に下はTikTokを活用し、動画を用学により、対象信を追した。 その他、大田、学科の教員の紹介など、高校生への情報発信を強化した。

【AC】 : 指摘事項 (改善) :

飛信を傾した。 また、年内とりわけ専願制入試の入学 者獲得を目的とした育成型のスカウ ティング入試を実施強化し、志願者獲 得に努めた。

その他、本学科の課題の1つでもある競合校と比較して学費が高いことに対する改善策として新たに導入した健康科学部奨学制度(年間30万円の給付、最長4年間)を広く周知し、出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施した。

に表記した。 高校生の進路選択において、全国的に 栄養分野のマーケットが厳しい中で、 オープンキャンパスへの動員は減少 (昨年比84.6%) したが、志願者は微 増 (昨年の103.0%) 、入学者は微増 (昨年の110.0%) となった。結果、留 意事項を改善できるような学生数の確 保までに至らなかった。

履行中

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は

<u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)(7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a 図書54,864 [6,910] 冊 b 学術雑誌〔うち外国書〕1,699 [236] 冊 c 電子ジャーナル〔うち外国書〕3 [1] 種 d 視聴覚資料6,005種	図書2,745 [308] 冊増 学術雑誌23冊増 [外国書21冊減] 電子ジャーナル3種減 [外国書1種減] 視聴覚資料16種増 当学科に関連する書籍を含め、教育の充実を図った。 なお、電子ジャーナルはデータベースへの切り替え を行ったため、影響はない。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程 (別紙1)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

第1回 令和6年 5月14日 (木) 出席8名

第2回 令和6年 6月17日 (月) 出席9名

第3回 令和6年 7月22日 (月) 出席9名

第4回 令和6年 9月27日 (金) 出席9名

第5回 令和6年11月 1日 (金) 出席9名 第6回 令和6年11月19日 (火) 出席8名

第6回 1946年11月16日(大) 田淵6日

第7回 令和6年12月13日(金) 出席9名

第8回 令和7年 1月21日 (金) 出席8名 第9回 令和7年 2月25日 (火) 出席7名

- c 委員会の審議事項等
 - 第1回 (1) 2024年度FD・SD活動について
 - ① 規程の確認について
 - ② 役割分担について
 - ③ 2024年度予算について
 - (2) 各活動について
 - ① 授業公開について
 - ② 授業アンケートについて
 - ③ 分科会の開催について
 - (3) 次回の日程案について

- 第2回 (1) FD・SD活動について
 - ① 授業公開について
 - ② 授業アンケートについて
 - ③ 教職員カフェについて
 - ④ 教職員研修会について
 - (2) 次回の日程案について
- 第3回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員研修会について
 - ② 教職員カフェについて
 - ③ 授業公開について
 - ④ 授業アンケートについて
 - ⑤ FD広報について
 - (2) 次回の日程案について
- 第4回 (1) FD・SD活動について
 - ① 授業アンケートについて
 - ② 教職員研修会について
 - ③ 授業公開について
 - ④ FD広報について
 - (2) 次回の日程案について
- 第5回 (1) FD・SD活動について
 - ① 授業アンケートについて
 - ② 授業公開について
 - ③ 教職員研修会について
 - ④ 教職員カフェについて
 - ⑤ FD広報について
 - (2) 次回の日程案について
- 第6回 (1) FD・SD活動について
 - ① 教職員研修会について
 - ② 教職員カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - (2) 次回の日程案について
- 第7回 (1) FD・SD活動について
 - ① 授業公開について
 - ② 教職員カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - (2) 次回の日程案について
- 第8回 (1) FD・SD活動について
 - ① 授業公開について
 - ② 教職員カフェについて
 - ③ 授業アンケートについて
 - (2) 次回の日程案について

第9回 (1) FD・SD活動について (報告・ふりかえり)

- ① 教職員カフェについて
- ② 授業アンケートについて
- ③ 教職員研修会について
- ④ 授業公開について
- ⑤ FD広報について
- (2) 次年度事業計画ついて
- (3) 次回の日程案について

② 実施状況

- a 実施内容
 - 1. 新任教職員研修
 - 2. 学修成果の可視化(兵大「学びのカルテ」, PROGテストの実施)
 - 3. 授業アンケート(Ⅰ期授業アンケート、Ⅱ期授業アンケート)
 - 4. 授業公開(Ⅰ期授業公開、Ⅱ期授業公開)
 - 5. 教職員FD・SD研修会及びFD 実践講座
 - 6. 教職員カフェ
 - 7. FD広報

b 実施方法

1. 新任教職員研修

年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施した。

- 2. 学修成果の可視化:学修および課外活動等のポートフォリオ(兵大「学びのカルテ」)の活用推進 兵大Basics "A"「日本語(読解と表現)」「英語」「コンピュータ演習」の基礎カテストを実施して、学生の基礎力を 把握し、ふり返りの資料とした。また、専門教育科目を学ぶために必要な基礎力を兵大Basics "B"として学科ごとに 設定し、ルーブリック評価を用いた自己評価などの取り組みを実施した。兵大Basics "C"では、5つの汎用的能力 (ジェネリックスキル)を設定している。これらの能力を測る目的で外部アセスメントテストを実施した。 学生向けに結果をふり返る解説会を、教員向けにデータ分析の結果報告会を実施した。専門教育の学修成果に ついては、「兵大プロフェッショナルカ」として、学科ごとに専門科目を選定し指標化して成長度を把握できるよう に設計し実施した。
- 3. 授業アンケート

I 期学期末(8月)に、Webによる授業アンケートを実施した。アンケート結果を集約して、科目担当者に返却するとともに、結果に対する教員コメントを学生に公開した。 II 期学期末(1月)に、Webによる授業アンケートを実施した。アンケート結果を集約して、科目担当者に返却するとともに、結果に対する教員コメントを学生に公開した。

4. 授業公開

I 期・II 期ともに、全学科において公開科目を設定し、公開期間 (およそ1ヶ月) において教職員による授業参観を実施した。参観者は、参観シートを記入し、授業公開者へフィードバックを行った。

5. 教職員FD・SD研修会他(オンライン開催)

大学教育の在り方を考えるための知見を得ることができた。

第1回は、兵大グッド・プラクティス賞(以下兵大GP賞とする)受賞者による講演を行った。 第2回は、新学習指導要領の改訂に係る高校教育の変化、特に「探究授業」と大学教育への接続は、注意すべき課題 である。今後の大学に求められる対応について、専門家を招き講演会を開催した。高大接続教育の取り組み方や

6. 教職員カフェ (対面開催)

第1回教職員カフェは、教職員FD・SD研修会(テーマ GP賞)と連携して、パブリックビューイング方式で講演を視聴し対面で直接講師と意見交換会を行った。受賞した授業における要点や工夫、その思いなどを共有することができた。 第2回教職員カフェは、「学生理解を深めよう」をテーマとして、対面形式でワークショップを開催した。 今回の研修の主旨は、「学生参画」型の大学づくりの一つの方策として、学生に教職員カフェに参画してもらい、学生を教員役として学生から直接現代の学生事情や兵庫大学での学生生活について聴き学ぼうという試みである。 直に学生の声を聴く貴重な機会となり、今の学生事情や考えを知ることで教職員は、多くの気づきを得ることができた。

7 FD広報

FD専用ホームページを開設し、本学のFD活動の内容を情報発信している。適宜、大学コンソーシアムひょうご神戸等の 関連情報を掲載している。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

1. 新任教職員研修

(教育分野) 令和6年4月3日 (水) 開催 対象者26人、参加者26人 (参加率100.0%) (研究分野及び地域連携関連) 令和6年4月4日 (木) 開催 対象者26人、参加者26人 (参加率100.0%)

2. 学修成果の可視化

兵大Basics "A" (「日本語 (読解と表現)」「英語」「コンピュータ演習」)の基礎カテストを実施して、学生の基礎カを把握し、カルテ化してふり返り資料として、学生および学科担当者に返却している。また、専門教育に必要な基礎力を兵大Basics "B"について、学科ごとにルーブリック評価を導入している。

3. 兵大「学びのカルテ」の作成

兵大BasicsABC、兵大プロフェッショナルカのほか、成績やGPA、実習・インターシップ参加、課外活動等を「学びのカルテ」として集約し、LMS (manaba) 内で総合的ポートフォリオとして記録の蓄積し、学生に情報の活用を促進した。具体的な活用として、年2回以上教員と学生が面談する (「面談システム」) を全学で実施して、学生の「自己分析」や「ふりかえり」ながら学修や活動に向かう態度や資質・能力を向上させた。

4. 兵大Basics"C" (PROGテスト) の実施

兵大Basics" C"は、大学生活を通して身につけるコミュニケーションカ、人間関係調整力、情報分析力、問題対処力、構想力を指している。兵大Basics″C"(PROGテスト)では「リテラシー」「コンピテンシー」の2種類のテストを実施し、1年次の学生に対しては、PROG解説会で結果を確認しながらグループワークを行い、各人の強み・弱みを認識し、学業生活や学生生活の目標を立てることを目的としている。3年次では、1年次との比較による成長分析を行うことで、キャリア形成にも役立てている。本取組は学科単位であり、学科の担当教員も参加する。

また、教職員向けにPROGの結果を大学全体、学部学科別に分析をし、個々の傾向や課題を共有する目的で「PROG教職員研修会を開催した。同研修にて学科ごとの学生の傾向や課題について認識を深めた。

5. 授業アンケート

- ・I期期末:令和6年7月9日(火)~8月24日(土) 有効回答率 37.6% I期全科目を対象に授業内及び授業外で実施(実施開始日までに授業が終了した科目も含む)
- ・ II 期期末: 令和 6年12月16日 (月) ~令和 7年2月8日 (土) 回答率 31.4% II 期全科目を対象に授業内及び授業外で実施 (実施開始日までに授業が終了した科目も含む)

(学生に対する実施後の対応)

- ・科目ごとに教員から授業アンケート結果をふまえた教員のふり返り内容や受講学生へアドバイス等を コメントシートにまとめて伝える。情報はまとめて、教学情報システムで掲示する。
- ・授業アンケートの詳細な集計結果(大学、短大別)を学生に対して、また、外部への情報公開 として大学ホームページ等で公表している。

(教員に対する実施後の対応)

・アンケート結果を集約して、科目担当者に返却する。科目担当者は集計結果および自由記述内容を確認し、 コメントシートを記入する。コメントシートは、学生のみならず、学科長および学部長に共有され、カリキュラム 改善および授業改善に活用される。 (授業アンケート結果の活用:兵大グッド・プラクティス賞による表彰)

・授業アンケートの結果から、授業実施や学生の満足度等に関する項目を得点化し、高得点の科目(教員)を表彰し、 授業改善および教育の質の向上に向けた風土の醸成を図る。

6. 授業公開

・I期:令和6年5月27日(月)~6月22日(土)公開科目数102科目 授業参観延べ人数 142人(専任教員115人、専任職員27人)

・ I 期: 令和 6年10月21日 (月) ~ 11月23日 (土) 公開科目数 85科目 授業参観延べ人数 145人 (専任教員 120人、専任職員 25人)

7. 教職員FD・SD研修会(全回オンライン研修会)

・第1回教職員FD・SD研修会(教職員カフェ合同): 令和 6年7月3日(水)

参加者:159名(専任教員 130人、専任職員 27人、非常勤教員 2人)

テーマ:「受賞対象の授業での工夫」講師4人

・第2回教職員FD・SD研修会:令和6年11月6日(水)

参加者:165名 (専任教員 122人、専任職員 33人 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校他10人)

テーマ:「高校での探究学習を踏まえた大学教育のあり方」

8. 教職員カフェ

·第1回 令和 6年 7月3日 (水) 参加者 17人 (専任教員 16人、専任職員1人)

【テーマ】「受賞対象の授業での工夫」

オンライン研修会をパブリックビューイングで視聴し、その後、直接研修会の講師をカフェ会場に招き 意見交換会を実施する。(ハイブリット形式で同時配信) 和やかな雰囲気のなかで、自由に意見を交換し、 懇親を深めることができた。

・第2回 令和6年2月 3日(木) 参加者 13人(教員 12人、専任職員 1人)

【テーマ】「学生理解を深めよう」

参加者は、教職員26名(内教員25名、職員1名)、学生8名、オンデマンド視聴者24名(内教員20名、職員4名) 合計58名の参加があった。(教員45名、職員5名、学生8名)

学生を教員とみたて実際の教員に教える。学生を3グループに分けそれぞれ教員がグループを渡り歩くワールドカフェ で進行させ、最後にグループごとに学生からまとめを発表してもらう。教職員カフェ終了後、教職員・学生向けのアン を通じて、双方に新たな発見や気づきを得ることが確認できた。

9. FD広報 (ホームページから情報発信)

兵庫大学ホームページのメニューに専用ページ兵庫大学の「FD活動」を設定した。

内容は、実施体制、授業アンケート、授業公開、FD修会、教職員カフェ、これまでのFD活動等である。情報発信や FD等に関する情報提供のツールとして活用している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業公開において、授業アンケート結果を活用して授与される「兵庫大学グッド・プラクティス賞(兵大GP賞)」受賞者が担当する科目に多くの参観者があり、授業改善の相互研鑽である授業公開の活性化に結びついている。これは、教職員FD・SD研修会において、兵大GP賞受賞者の取り組みや工夫を共有したことの効果でもある。この教職員FD・SD研修会は全員参加を原則としており、授業改善のための中心的な取り組みとなっている。

2024年度は、「高校『探究』授業(以降、探究授業)」「学生参画」など高等教育の動向や大学教育の重要なテーマを設定することにより、学生の理解や授業改善への関心を高めることができた。具体的には、第2回教職員研修会において、「探究授業」をテーマとし、高校教育における探究学習の現状と意義を学び、それを大学教育に繋げる方法について考えた。学生同士の対話や学びの視覚化の重要性、指導上の課題も共有され、教育現場に即した取り組みの必要性を再認識するとともに、高校の探究教育の成果や研究へのまなざしを伸長させる大学教育の在り方や、学生主体の学びを深める環境づくりの重要性を再確認する機会になった。新しい教育に向かう潮流をふまえて、中等教育から高等教育への連携を注視しつつ、大学教育の在り方を模索していく重要性を認識した。

第1回教職員カフェは、オンラインの教職員研修会をパブリックビューイング方式で対面視聴し、講演者をゲストに迎え 最後に意見交換を行った。気楽な雰囲気のなかで、自由に意見を交換し、身近なことを語り合うことを趣旨として実施 し、懇親を深めることができた。このカフェは、学部学科の教員や職員がチームとして教育や学生指導に取り組む土台づ くりの役割を果たしている。

第2回教職員カフェは、「学生理解を深めよう」をテーマとして、対面形式でワークショップを開催した。今回の研修では、「学生参画」型の大学づくりの一つの方策として、学生に教職員カフェに参画してもらい、学生を教員役として学生から直接現代の学生事情や兵庫大学での学生生活について聴き学ぼうという試みである。直に学生の声を聴く貴重な機会となり、教職員が、今の学生事情や考えを知ることで多くの気づきを得ることができた。今後も引き続き取り組みを継続させていきたい。

2024年度 I · II 期授業アンケートは、従来通り、授業科目ごとにwebで実施し、実施後は学生に対しアンケート結果の概要を公表した。また、教員に対しては、アンケート結果をフィードバックした上で、その結果に対する授業改善に向けたコメントを記載してもらい学生に公表した。学生と教員がともに授業をふり返ることで、学修者主体の授業に向けた改善ができている。

また、アンケート結果は、教育と学修を全学の視点から考察するデータ資料として、情報IR室が分析し、教育の質の向上および内部質保証の検討にも役立てている。

第1回研修会では、「授業アンケート」結果において評価が高い教員を表彰する「兵庫大学グッド・プラクティス賞 (兵大GP賞)」の受賞者を講師として、授業改善に係る講演会を実施した。その後、兵大GP賞受賞者の授業公開科目の参加者が急増するなど「授業公開」への関心が高まり、FD活動が活性化できた。また、GP賞と連携した研修会は教員の授業改善への研鑚の機会となり相乗効果をもたらしている。

の書への研究の機会となり相乗効果をもたらしている。 第2回はテーマを「探究授業」とし、今後の大学に求められる対応について、専門家を招き講演会を開催した。高大接続教育の取り組み方や大学教育の在り方を考えるための知見を得ることができた。

一方で大学のホームページの「FD活動」のページでは、大学全体としての教育に対する取り組み姿勢や指針等を示し、本学のFD活動や取り組みを内部・外部に向けて伝えている。

以上の活動を通じて、教員相互、また教職員間において、組織的に教育力向上に取り組む風土醸成を図ることができ、 教育改革の必要性と課題を認識することができている。また、実質的な授業改善に関する知識と技術を獲得することがで きている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

年2回実施した。

- 2024年度Ⅰ期 対象:全科目(Webでの実施)
 2024年度Ⅱ期 対象:全科目(Webでの実施)
- b 教員や学生への公開状況、方法等

(詳細は、②c開催状況を参照)

教学情報システム、本学ホームページ

- (注)·「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし		

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見別紙2のとおり
 ② 自己点検・評価報告書

 a 公表(予定)時期
 ・令和7年5月28日 公表
 b 公表方法
 ・大学ホームページ上に公開(令和7年6月を予定)

 ③ 認証評価を受ける計画(専門職大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
 ・令和5年に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受け、適合判定を受けた。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0 1	投置計画履行状況報告	書(令和7年度)	
а	公表予定の有無	[有	
≪a ⁻ b c	で「有」の場合≫ 公表(予定)時期 公表方法	[調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降] [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]]
≪ a [.] d	で公表「無」の場合≫ 公表しない理由)

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。